

令和4年度

児童生徒腎臓検診報告書
児童生徒心臓検診報告書

付 貧血検査結果（中2女子・高2女子）
突然死に関する調査結果

群馬県学校保健会

（児童生徒腎臓疾患対策委員会）

（児童生徒心臓疾患対策委員会）

群馬県教育委員会健康体育課

はじめに

近年、児童生徒を取り巻く社会環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康に様々な影響を与えています。メンタルヘルスに関する問題やアレルギー疾患・生活習慣病・性の逸脱行動、薬物乱用・感染症などに関する課題等が顕在化しており、学校における児童生徒の健康管理や健康指導の重要性はますます高まっています。

このような現状の中で、本県では、腎臓や心臓などの慢性疾患対策として「児童生徒健康管理対策実施要綱」を定め、健康診断の適切な実施に努めております。

この報告書は、令和4年度の児童生徒健康管理対策事業により実施した県内公立学校の健康診断結果を中心に分析したものです。

腎臓検診につきましては、令和元年度より、「腎臓検診一次検診（尿検査）」での「蛋白」・「潜血」・「白血球」・「糖」の異常閾値について【（1+以上）を異常】とし、糖については100mg/dl以上を有所見者としました。その結果、二次検診以降の有所見者が約半数に減少いたしました。

心臓検診につきましては、小学校4年生に対する心臓検診の実施を進めているところですが、令和4年度は県内25市町村で実施いただきました。令和5年度から、玉村町、草津町、みなかみ町、昭和村、そして片品村が小学校4年生に対する心臓検診の実施を予定しております。今後も突然死の予防等のため、未実施の市町村には検診を進めていきたいと考えております。

腎臓検診・心臓検診が適切に行われ、児童生徒の健康管理・健康指導に生かされることは、児童生徒のQOLが向上し、児童生徒が生涯を通じて、健康な生活を送ることができる基となると確信しています。

本書の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行により「児童生徒腎臓疾患対策委員会」及び「児童生徒心臓疾患対策委員会」は書面開催となりましたが、「児童生徒腎臓判定小委員会」・「児童生徒心臓判定小委員会」に諮り、専門医の方々より御意見をいただきました。検討した結果を掲載しておりますので、関係各位につきましては、参考にしていただき、今後の児童生徒の健康管理・健康指導に御活用くださいますようお願い申し上げます。

令和5年4月

群馬県学校保健会

会 長 須藤 英 仁

群馬県教育委員会事務局

健康体育課長 橋 憲 市

目 次

児童生徒腎臓検診結果・糖検診結果・・・・・・・・・・ 1

貧血検査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

児童生徒心臓検診結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

突然死に関する調査結果・・・・・・・・・・・・・・ 59

児童生徒腎臓検診結果

- ・糖検診結果

1 検診結果から分かったこと

(1) 腎臓検診結果より

①一次検尿について(表2、図1～4)

一次検診は対象 177,864 人中 98.88%が一回目検尿を行いました。一回目検尿の受診率は、例年とほぼ同じで、引き続き高い水準を維持しておりました。二回目検尿は、対象 3,552 人中 93.6%の受診率でした。

全体での有所見率は、一回目 2.16% (昨年度 2.23%) 二回目 0.40% (昨年度 0.42%) と昨年との変化はほとんどありませんでした。

検尿有所見率(表2、図1～2)は、全体で

一回目 小学校 1.28%、中学校 3.47%、高等学校 2.35%、特別支援学校 6.23%

二回目 小学校 0.29%、中学校 0.56%、高等学校 0.40%、特別支援学校 2.03% と、いずれの学校種でも昨年とほぼ同割合でした。ここ5年の推移は図1、図2をご覧ください。

学校種毎での、種目別の有所見率(表2、図3～4)の結果は下記の通りです。

一回目検尿有所見率(%)

二回目検尿有所見率(%)

	小	中	高	特		小	中	高	特
潜血	0.65	1.49	1.39	1.93	潜血	0.21	0.28	0.25	0.64
蛋白	0.58	1.81	0.85	1.29	蛋白	0.06	0.25	0.12	0.45
潜血+蛋白	0.06	0.17	0.11	0.25	潜血+蛋白	0.02	0.04	0.03	0.10

上記のように尿異常の種目別でも、昨年とほぼ同様の値を示しました。図3、図4に見やすく図示されております。

令和の時代に入ってから一回目、二回目の受診率、検尿異常の割合がともに新形コロナの影響もあまり見られず推移しており、これは検尿体制がしっかりしていることの裏返しかもしれません。

②二次検診、主治医検診について

表3より、二次検診以降全体(二次検診、主治医検診、三次検診、直接三次検診)では、受診率が71.21%と、昨年の70.6%とほぼ同様でした。校種別では、小学校は、79.94%(昨年81.3%)と高めでしたが、高等学校は64.04%(昨年54.2%)と低めながらも、やや改善傾向でした。全体として三割が未受診であり、例年のことですが、受診率改善を期待したいところです。

二次検診(図5、表3-1、図9)にて、表3-1より全体の受診率は67.2%と、前年の70.6%を下回り、その中でも高等学校は55.6%とほぼ半数であり、改善を強く望みます。また、有所見率は62.66%(前年57.2%)とやや高めでした。二次検診では、新規にIgA腎症1人、ネフローゼ症候群が1人診断されました。図9に項目別の円グラフを記載しました。この中で項目番号60が未受診。右半分の項

目番号 51, 1, 2, 3 が積極治療介入不要群になります。図 5 で最近 5 年間の受診率の推移を示します。

主治医検診（図 6, 表 3-2）にて、表 3-2 より、受診率 79.1%（昨年 79.4%）と全体の数値はほぼ同様でしたが、校種別では中学校が低下し、高等学校が上昇しました。表 3-2 より、有所見率は 95.60%（昨年 94.2%）と、こちらは前年と変わりありませんでした。図 6 でここ 5 年間の受診率の推移を示します。

主治医のもとで検尿システムに乗っている児童生徒は、慢性糸球体腎炎 14 人、ネフローゼ 7 人、IgA 腎症 7 人、紫斑病性腎炎 2 人でした。

③三次検診について（図 7, 表 3-3）

表 3-3 より、全体の受診率は 85.7%とやや低下傾向で、特に中学校が 70.0%と三割の未受診があります。三次紹介なので、重要な疾患である可能性も高いことからしっかりとした指導をお願いしたいところです。表 3-3 より、二次から三次紹介になった生徒は 28 人。内 24 人が受診されました。受診率 85.7%（昨年 89.7%）。三次での有所見率は 91.7%。新規で慢性糸球体腎炎 3 人、ネフローゼ症候群 1 人が診断されました。図 7 で最近 5 年間の受診率の推移を示します。

④直接三次検診について（図 8, 表 3-4）

今年は昨年より減少し 72 人（昨年度 97 人）が該当しました。

表 3-4 より、全体の受診率は 73.6%でした。平成 28 年度から始まった本システムですが、受診率が徐々に低下傾向なのが気になります（図 8 参照）。緊急ルートですので、受診率 100%をめざした指導をお願いします。（特に中学校（75.0%）、高等学校（66.7%））

未受診者は 19 人で、小学校 3 人、中学校 10 人、高等学校 5 人、特別支援校 1 人でした。新規で、ネフローゼ症候群 1 人が診断されました。

毎年、直接三次の報告は、受診者全症例に専門医の再チェックを入れております。直接三次症例 72 例中、実際に確認した受診者は 53 人で、正常、起立性蛋白尿、無症候性血尿等大きな問題のない症例が 38 人（受診者中 71.6%）でした。

尿所見別で、尿蛋白(3+)群では、受診者 38 人中 31 人（81.6%）が異常なし、もしくは起立性蛋白尿でした。

病的なものとして、ネフローゼ症候群 1 人、持続性蛋白尿が 2 人、アルポート症候群 1 人、ミトコンドリア腎症 1 人、多発嚢胞腎 1 人、不明 1 人でした。

潜血(2+)蛋白(2+)群では、受診者 15 中 7 人（46.7%）が異常なし、もしくは無症候性血尿、起立性蛋白尿でした。

慢性腎炎（疑い、血尿+蛋白尿含む）3 人、遊走腎 1 人、ナットクラッカー 1 人、診断未定 3 人など、何らかの病的意義のある病名であり、蛋白尿単独症例より、血尿、蛋白尿症例に病的意義が強い傾向があるのは例年通りでした。

なお、直接三次症例の内、管理カードのない初診症例に限ると、77.3%が正常、もしくは無症候性血尿、起立性蛋白尿等でした。

⑤運動管理区分（表 3-5、3-6）

令和 3 年度より、管理区分 C 以上は三次へという流れを新たに作りました。その成果か、運動管理区分の問題症例はかなり少なくなってきました。本年度については、表 3-6 の通りです。（表 3-5 も併せて御参照ください）。C 以上がついた人が全員で 14 人でした。

二次検診で生じた B もしくは C の人は計 7 人おり、その内中学校 2 人（両者とも C）は未受診。ほかの 5 人は三次検診に進み、全て E もしくは管理不要に変更され問題なし。主治医検診群は C のみで 4 人いました。小学校 1 人がネフローゼで寛解にも関わらず C でした。この場合は、E でよいと考えられます。中学校の 2 人の C で神経因性膀胱症例は妥当、紫斑病性腎炎症例は不明。三次症例は、特別支援学校の症例 1 人のみで不明。直接三次症例は 2 人いて両者とも妥当でした。

以上より、未受診 2 人、不明 2 人除くと、明らかな管理区分の誤りは小学校主治医検診のネフローゼ症例 1 例のみであり、ほぼ全ての症例で適切な管理が出されておりました。

（2）糖検診結果より

【表 4】より、一次検診は、対象 177,864 人中 175,877 人（98.9%）が検診を行いました。昨年度 99.0%に引き続き、高い水準を維持しております。主治医検診受診率 86.1%（昨年度 90.1%、一昨年度 85.5%）、三次検診受診率 77.2%（昨年度 84.1%、一昨年度 80.0%）となり、主治医検診三次検診合計受診率は、最近で最も低い 80.0%となりました。【図 1 4-1】のように、平成 30 年度以降の受診率は上昇傾向でしたが、今年度はいずれの区分においても前年を下回り、感染症蔓延以外の原因を検索し、対応を進めなければなりません。

特に、高校生の受診率が低下しており、対策を要します。また、資料から正確に読み取ることはできませんが、糖検診主治医検診の未受診者には、2 型糖尿病が多いため、【表 4-1】以降のデータ解釈には注意が必要です。

【表 4-2】より、糖検診一次検診有所見者が受診する糖検診三次検診では、受診者 122 人中 21 人（17%）が、耐糖能異常(糖尿病)と診断されたことが分かります。この割合は、最近 3 年間で少し上昇しており、この割合で考えた場合、糖検診三次検診の未受診者である 36 人の中に、約 6 人が耐糖能異常(糖尿病)と診断されると推測できます。更なる受診率の向上が求められます。

糖検診で発見される糖尿病は、生活習慣とは関係なく発症し、直ちにインスリン注射が必要になることの多い1型糖尿病、生活習慣病としての2型糖尿病、そのほかの糖尿病(遺伝性糖尿病や医原性糖尿病など)に分けられます。

1型糖尿病は、日本の小児の年間発症率は10万人あたり1.5～2.5人と、頻度は多くありませんが、発症後早期に適切な治療が開始されないと重篤になりやすい特徴があります。【表4-2】より、今年度の糖検診が7人の1型糖尿病の新規発見に繋がり、症状が出現する前に適切な治療が開始されたことは、本事業の効果であると考えられます。

一方、2型糖尿病は肥満や過食によるところが大きく、以前は成人の疾患と言われていましたが、昨今では小児でもみられます。全国的にみると、小学生では2型糖尿病よりも、1型糖尿病の発症頻度が高いですが、中学生以降は2型糖尿病のほうが高くなっています。

また、【表4-2】より、今年度の糖検診では、11人の2型糖尿病の新規発見がありました。2型糖尿病の新規発見数は増加傾向にありますし、主治医検診の未受診者には2型糖尿病が多く、未受診者のデータが反映されていないことに注意が必要です。これに対しては、未受診を0人にしていくこと、該当児童生徒の健康状態について、適切な管理及び十分な注意をしていくことが必要です。群馬県的生活習慣病予防対策事業により、児童生徒の肥満を減らし、生活習慣病を減らすことも喫緊の課題です。

【表7】より、糖検診結果の管理区分については、6人がC以上になりました。糖尿病は基本的に運動制限が不要ですが、この6人においては、糖尿病以外の原因のため運動制限が必要であることを確認しています。

糖検診三次検診受診報告書を全て確認してみますと、医療機関受診時に検尿のみ行われ、尿糖陰性を確認しただけで「異常なし」もしくは「正常」と判断された児童生徒が7人いました。昨年度、糖検診三次検診で尿糖陰性を確認されただけで「異常なし」と判断された児童が、数ヶ月後に糖尿病性ケトアシドーシスという重篤な症状を呈したのちに1型糖尿病の診断に至ったという報告がありました。

糖尿病であっても血糖値が170～180mg/dl以上でない間に産生された尿では、尿糖陰性になることもありますので、この報告の児童においては、三次検診の時点で血液検査を行えば、重篤な症状を呈する前に糖尿病の診断が出来たのではないかと考えます。同じことを繰り返さないために、令和5年度改訂群馬県医師会が発行する学校検尿マニュアルに、尿糖三次検診で行うべき検査を掲載しましたので、必ずご確認ください。

また、糖尿病の診断には OGTT が必要になる場合もありますが、学校検尿マニュアルに記載された糖尿三次検診病院は、児童生徒の OGTT が可能な施設になっています。

2 最後に

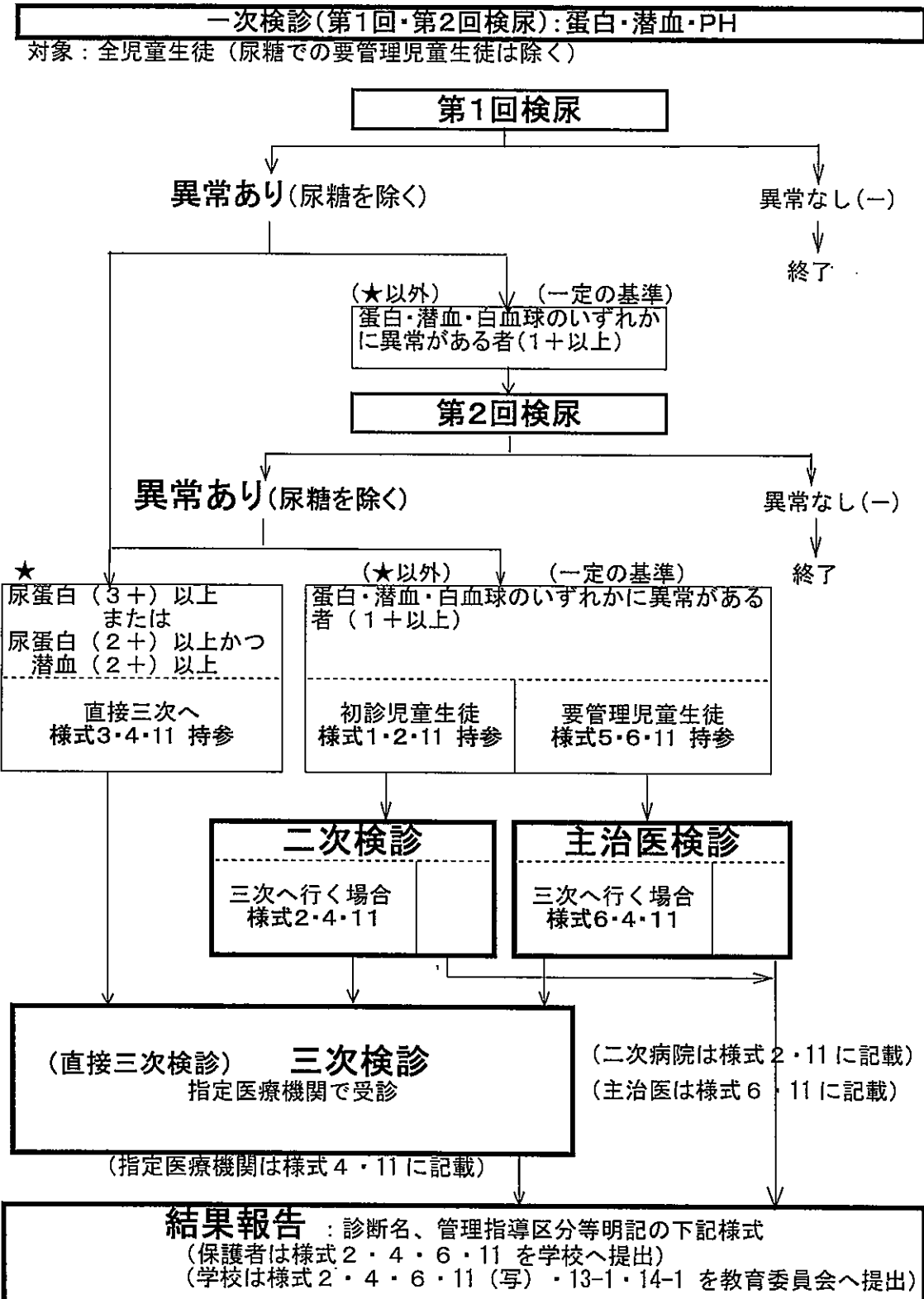
膨大なデータを適切に処理して、群馬県の児童生徒の動向を把握することは、群馬県の将来のために重要な業務です。わずかではあるものの、不適切な対応（例：主治医検診対象児童生徒を三次検診対象と区分することなど）のある学校が存在するため、この業務が煩雑になっていることも事実です。

また、管理区分未記入のままの受診報告書も見受けられます。生徒児童の学校活動に支障をきたしますので、担当医の先生も御注意いただきたいと存じます。今年度も各学校担当者、各市町村教育委員会、県教育委員会の方々のご尽力のおかげで、データ解析が出来ましたことに深く感謝を申し上げます。この事業が、群馬県の将来に繋がるよう、今後ともよろしくお願いいたします。

(参考)

腎臓・糖検診のフロー

(1) 腎臓検診フロー

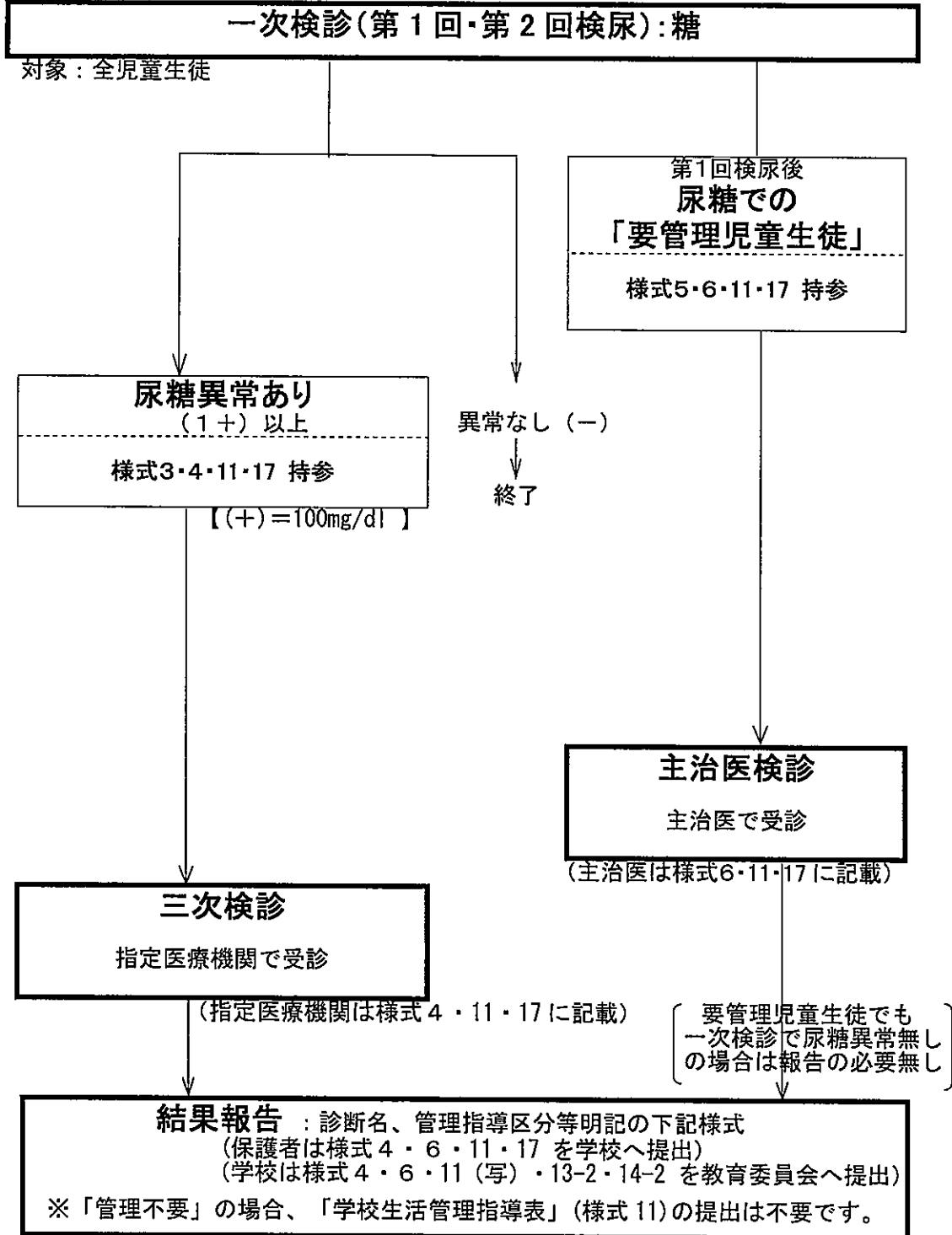


※上記「要管理児童生徒」の一次検診結果が「異常なし(-)」となった場合、基本的に管理は不要となる。ただし、主治医が次回検診が必要と判断した場合は、そのやりとりを「様式11」をもって行う。

(参考)

腎臓・糖検診のフロー

(2) 糖検診フロー



※要管理児童生徒:「腎・糖尿疾患管理カード」が作成されている児童生徒

1. 腎臓検診の結果(糖を除く)

表1 腎臓検診実施状況(一次検診・二次検診以降:小学校・中学校・高等学校・特別支援学校)まとめ

令和4年度【児童生徒健康管理対策実施要綱 報告様式(様式14-1)より】

単位:人

種別	一 次 検 診 結 果												
	第1回目検尿結果							第2回目検尿結果					
	※1 全対象者数 (在籍者数)	※2 受診者数	異常あり (有所見)	有所見内訳				受診者数	異常あり (有所見)	有所見内訳			
			※3 潜血 のみ	※4 蛋白 のみ	※5 潜血 +蛋白	※6 白血球	※3 潜血 のみ			※4 蛋白 のみ	※5 潜血 +蛋白	※6 白血球	
小学校	90,836	90,265	1,159	585	521	53		1,124	258	187	57	14	
			1.28%						0.29%				
中学校	49,309	48,432	1,683	721	879	83		1,548	272	134	121	17	
			3.47%						0.56%				
高等学校	全日制	34,178	33,902	781	464	283	34	739	129	84	36	9	
	定時制	1,387	1,256	45	24	17	4	37	11	4	6	1	
	計	35,565	35,158	826	488	300	38	776	140	88	42	10	
				2.35%					0.40%				
特別支援学校	小学部	772	722	44	13	4	1	26	32	11	5	1	5
	中学部	483	448	24	7	6	3	8	18	9	4	2	2
	高等部	899	852	58	19	16	1	22	54	21	4	6	10
	計	2,154	2,022	126	39	26	5	56	104	41	13	9	2
				6.23%					2.03%				
総計	177,864	175,877	3,794	1,833	1,726	179	56	3,552	711	422	229	43	17
受診率		(98.9%)	2.16%					(93.6%)	0.40%				

●※1 全対象者数(在籍者数)は5月1日現在。(受診率)以外の%は、すべて「1回目検尿の※2受診者数」に対する割合。

種別	二 次 検 診 以 降 受 診 状 況 (二次検診・主治医検診・三次検診・直接三次検診) 糖は除く												
	※7・8・9・10		※7 二次検診		※8 主治医検診		※9 三次検診		※10 直接三次検診(一次検診時内訳)				
	二次検診以降 全対象者数 (合計)	二次検診以降 全受診者数 (合計)	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数 (合計)	対象者数 内訳	受診者数 (合計)	受診者数 内訳	
小学校	319	255	208	161	85	72	11	10	尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	15	7 8	12 6	
中学校	371	241	240	147	81	57	10	7	尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	40	30 10	30 6	
高等学校	全日制	165	109	97	56	47	37	6	6	尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	15	10 5	10 3
	定時制	13	5	11	4	2	1			尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上			
	計	178	114	108	60	49	38	6	6	尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	15	10 5	10 3
特別支援学校	小学部	19	14	11	6	7	7			尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	1	1	1
	中学部	11	10	6	6	4	4			尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	1	1	
	高等部	26	24	21	19	4	4	1	1	尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上			
	計	56	48	38	31	15	15	1	1	尿蛋白3+以上 尿蛋白2+以上・尿蛋白1+以上	2	2	1
総計	924	658	594	399	230	182	28	24		72	72	53	
二次検診以降受診率		71.2%		67.2%		79.1%		85.7%				73.6%	

●上記%は、各検診【※7~※10】の「対象者数」に対する「受診者数」の割合。【令和5年1月31日現在】

糖検診を含めた受診率	73.0%	924	+	230	=	1,154	※ 二次検診以降対象者数	72	158	230
		658	+	184	=	842	※ 二次検診以降受診者数	62	122	184
		842	+	1,154	=	73.0%	※ 二次検診以降受診率			

(1) 腎臓検診一次検診の結果

表2 腎臓検診一次検診の実施状況・結果

令和4年度

単位：人

項目		校種				総計	
		小学校	中学校 中等教育 前期	高等学校 中等教育 後期	特別支援校		
※1 一次検診対象者数 (在籍者数)		90,836	49,309	35,565	2,154	177,864	
1 回目 検尿	※2 一次検診受診者数 (受診率)	90,265	48,432	35,158	2,022	175,877	
		99.37%	98.22%	98.86%	93.87%	98.88%	
	異常あり (有所見)	1,159	1,683	826	126	3,794	
		1.28%	3.47%	2.35%	6.23%	2.16%	
	有所見内訳	※3 潜血のみ	585 0.65%	721 1.49%	488 1.39%	39 1.93%	1,833 1.04%
		※4 蛋白のみ	521 0.58%	879 1.81%	300 0.85%	26 1.29%	1,726 0.98%
		※5 潜血+蛋白	53 0.06%	83 0.17%	38 0.11%	5 0.25%	179 0.10%
		※6 白血球	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	56 2.77%	56 0.03%
2 回目 検尿	受診者数		1,124	1,548	776	104	3,552
	異常あり (有所見)		258 0.29%	272 0.56%	140 0.40%	41 2.03%	711 0.40%
	有所見内訳	※3 潜血のみ	187 0.21%	134 0.28%	88 0.25%	13 0.64%	422 0.24%
		※4 蛋白のみ	57 0.06%	121 0.25%	42 0.12%	9 0.45%	229 0.13%
		※5 潜血+蛋白	14 0.02%	17 0.04%	10 0.03%	2 0.10%	43 0.02%
		※6 白血球	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	17 0.84%	17 0.01%

● 一次検診対象者数（在籍者数）は5月1日現在。（受診率）以外、%はすべて「※2 一次検診受診者数」に対する割合。【令和5年1月31日現在】

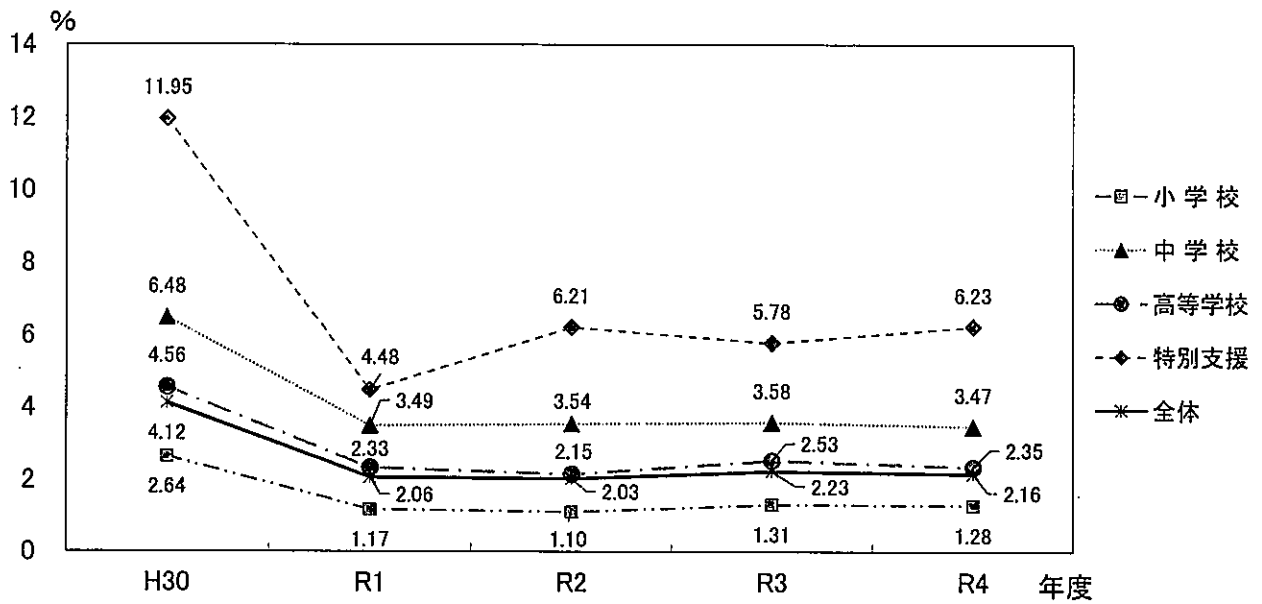


図1 第1回目検尿有所見率(H30~R4)

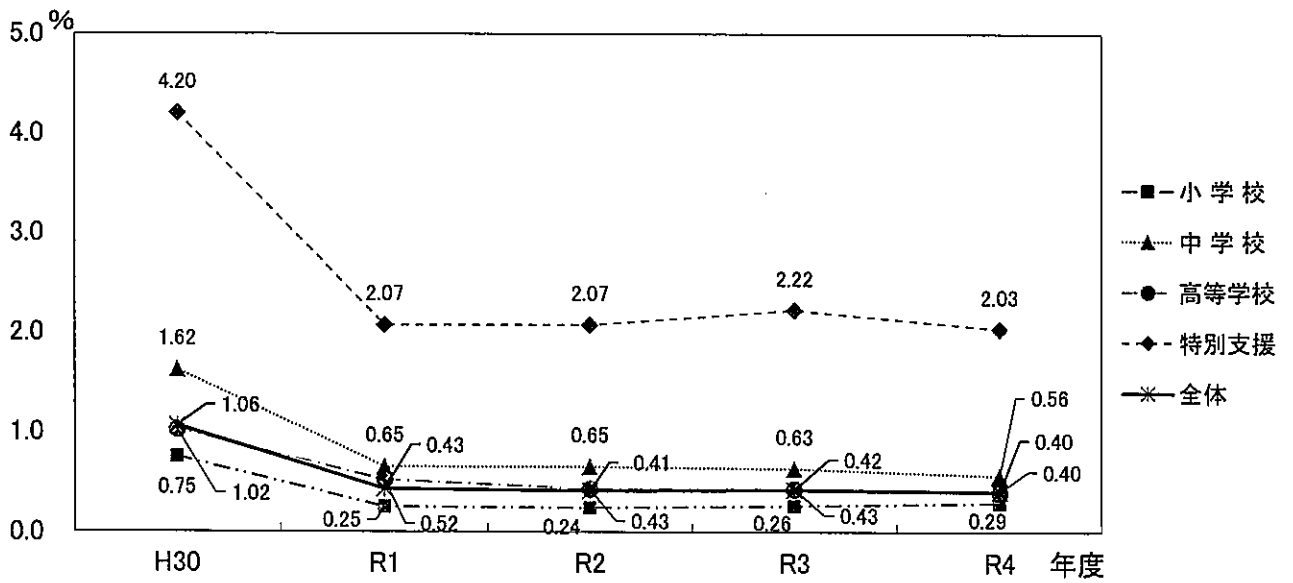


図2 第2回目検尿有所見率(H30~R4)

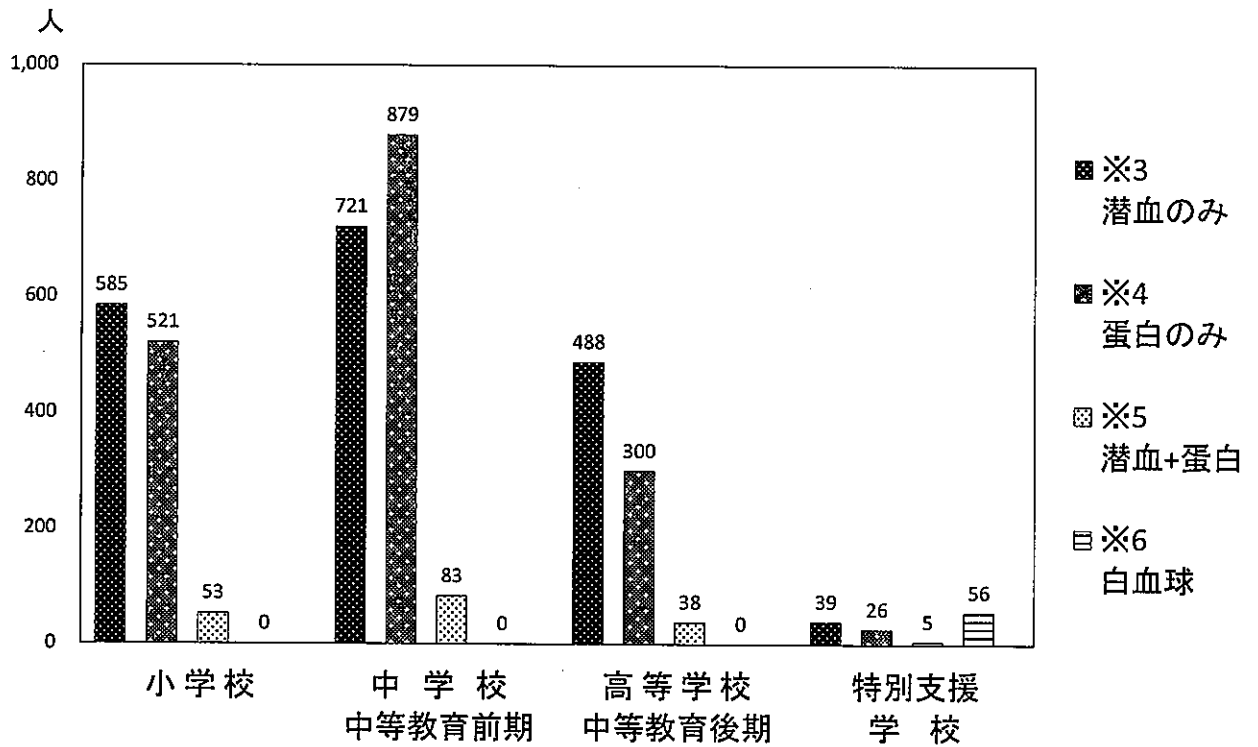


図3 第1回目検尿内識別有所見者数(R4)

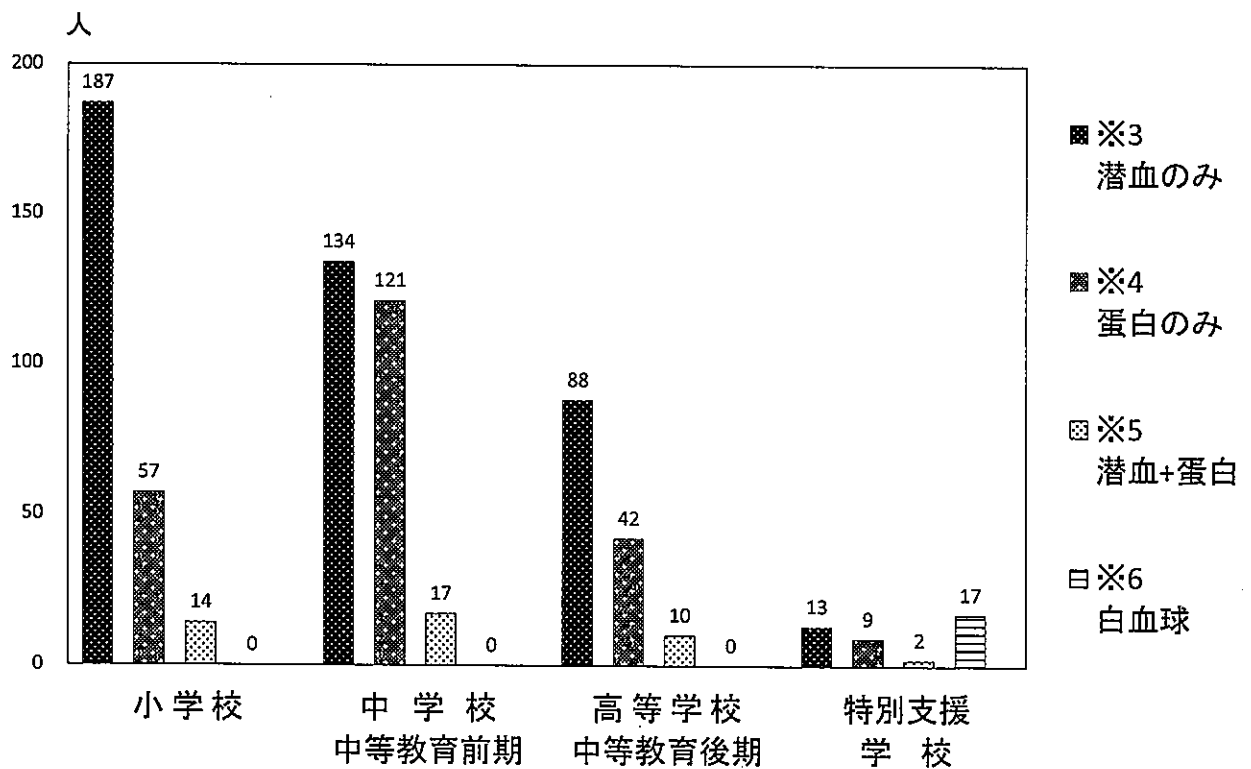


図4 第2回目検尿内識別有所見者数(R4)

(2) 腎臓検診二次検診以降の結果

表3 腎臓検診二次検診以降の実施状況（二次検診・主治医検診・三次検診・直接三次検診）

令和4年度

単位：人

項目		校種				総計	
		小学校	中学校 中等教育 前期	高等学校 中等教育 後期	特別支援校 学		
※7・8・9・10 二次検診以降対象者数		319	371	178	56	924	
※ 二次検診以降受診者数 (受診率)		255 79.94%	241 64.96%	114 64.04%	48 85.71%	658 71.21%	
※7 二次検診	対象者数	208	240	108	38	594	
	受診者数 77.4%	161	147 61.3%	60 55.6%	31 81.6%	399 67.2%	
※8 主治医検診	対象者数	85	81	49	15	230	
	受診者数 84.7%	72	57 70.4%	38 77.6%	15 100.0%	182 79.1%	
※9 三次検診	対象者数	11	10	6	1	28	
	受診者数 90.9%	10	7 70.0%	6 100.0%	1 0.0%	24 85.7%	
※10 直接三次検診（内訳は一次検診時）	対象者数	(合計)	15	40	15	2	72
	内訳	蛋白3+↑	7	30	10	0	47
		蛋白2+↑ 潜血2+↑	8	10	5	2	25
	受診者数	(合計)	12	30	10	1	53
	内訳	蛋白3+↑	6	24	7	0	37
		蛋白2+↑ 潜血2+↑	6	6	3	1	16

● 上記%は、すべて ※ 各検診の「対象者数」に対する「受診者数」の割合。【令和5年1月31日現在】

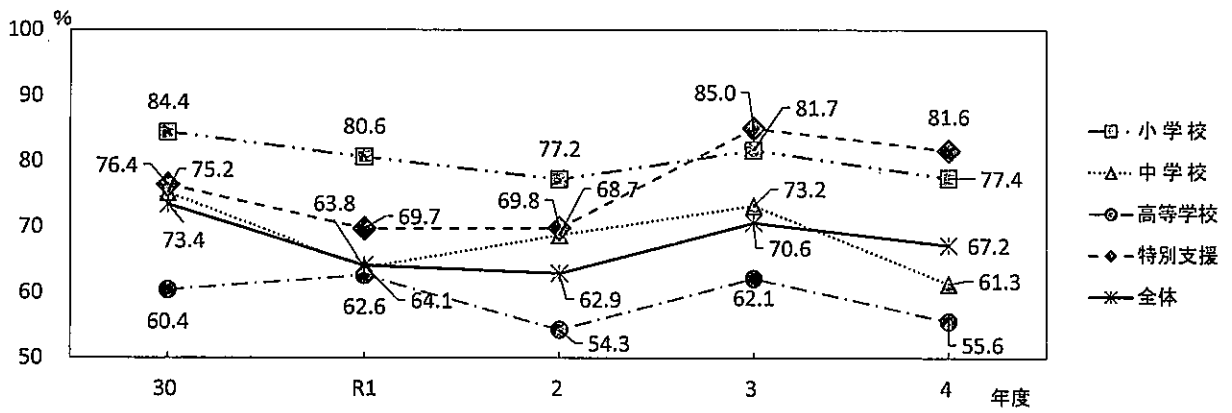


図5 腎臓検診二次検診受診率(H30~R4)

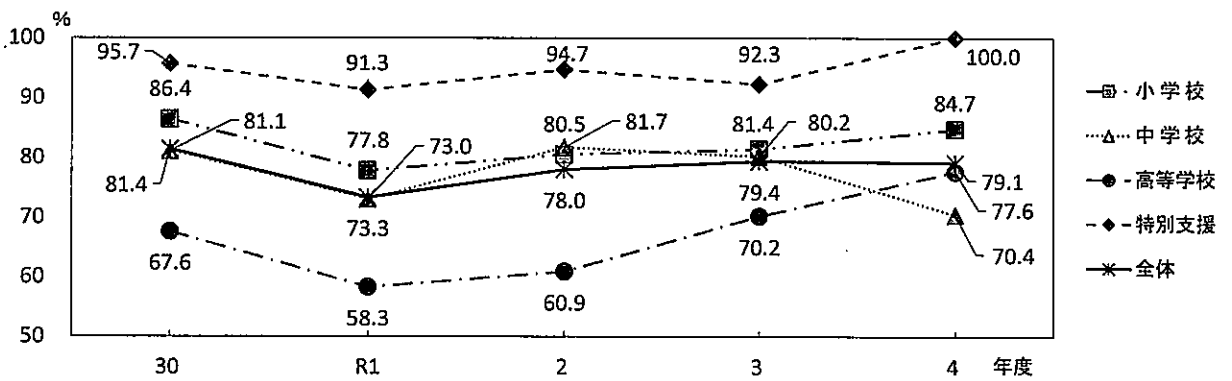


図6 腎臓検診主治医検診受診率(H30~R4)

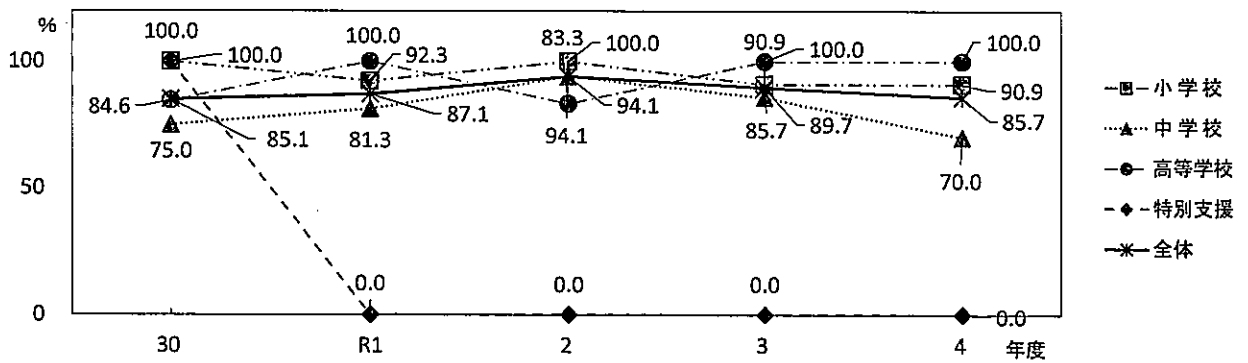


図7 腎臓検診三次検診受診率(H30~R4)

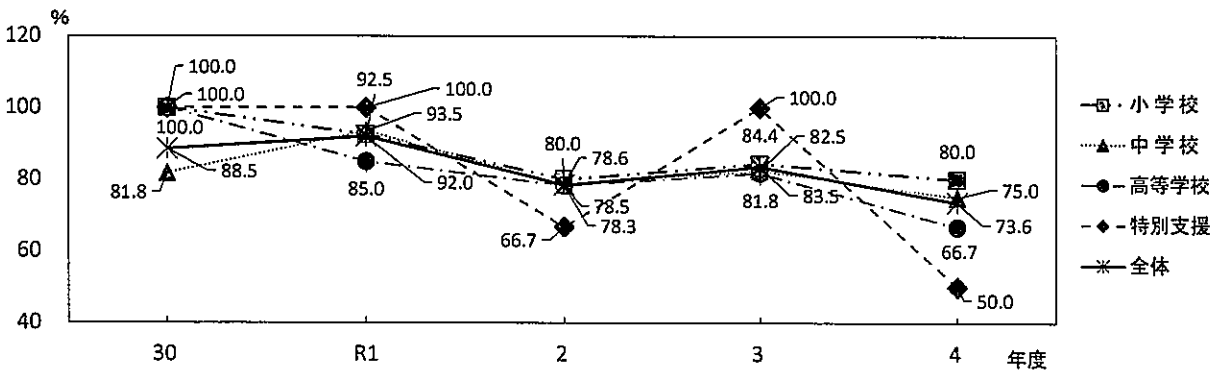
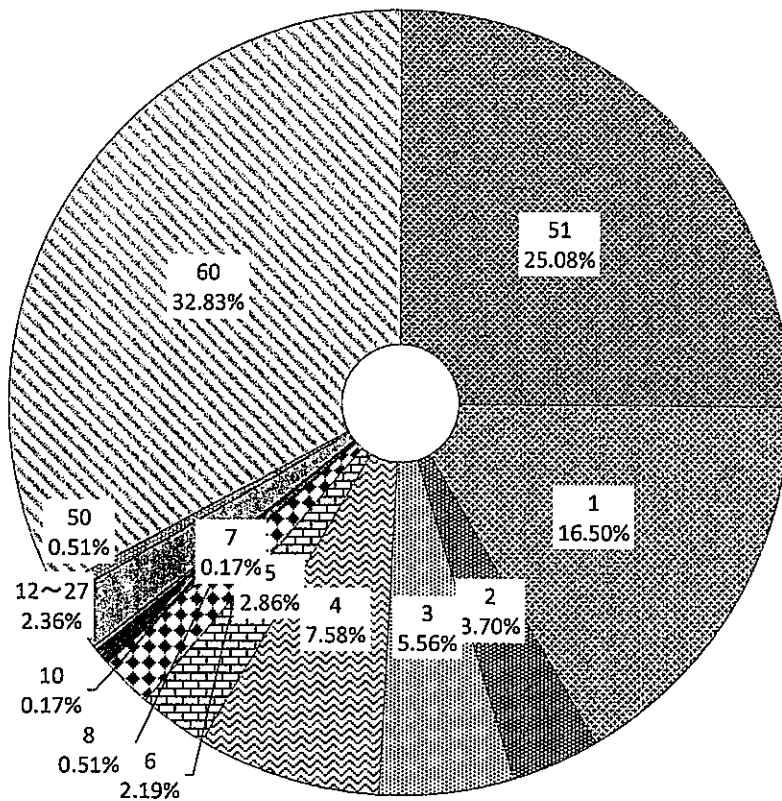
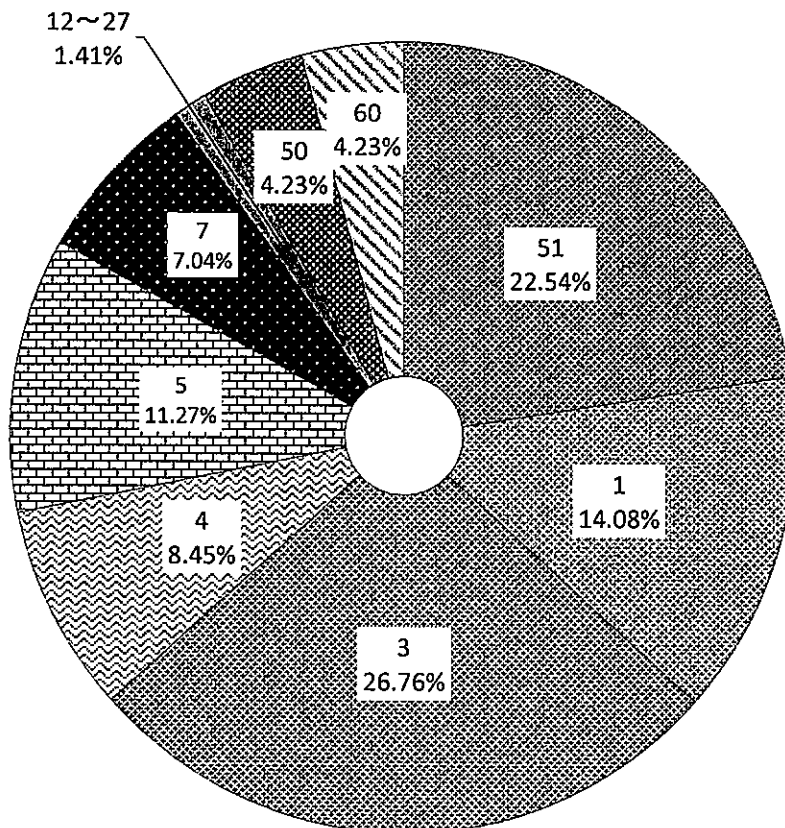


図8 腎臓検診直接三次検診受診率(H30~R4)



- 51: 異常なし
- 1: 無症候性血尿
- 2: 家族性血尿
- 3: 体位性蛋白尿
- 4: 持続性蛋白尿
- 5: 血尿+蛋白尿
- 6: 白血球尿
- 7: ネフローゼ症候群
- 8: 慢性糸球体腎炎
- 10: IgA腎症
- 12~27: その他
- 50: 診断未定
- 60: 未受診

図9 腎臓二次検診 診断区分



- 51: 異常なし
- 1: 無症候性血尿
- 3: 体位性蛋白尿
- 4: 持続性蛋白尿
- 5: 血尿+蛋白尿
- 7: ネフローゼ症候群
- 12~27: その他
- 50: 診断未定
- 60: 未受診

図10 腎臓直接三次検診 診断区分

表3-1 腎臓検診二次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別					総計
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
Ⅰ 対象者数		208	240	108	38	594	
Ⅱ 受診者数		161	147	60	31	399	
※ 受診率		77.4%	61.3%	55.6%	81.6%	67.2%	
Ⅲ 有所見者数		112 (101)	82 (80)	38 (36)	18 (16)	250 (233)	
		69.57%	55.78%	63.33%	58.06%	62.66%	
Ⅳ 診 断 区 分	1	無症候性血尿	54 (51)	22 (22)	17 (16)	5 (5)	98 (94)
	2	家族性血尿	16 (11)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	22 (17)
	3	体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	6 (6)	24 (24)	3 (3)	0 (0)	33 (33)
	4	持続性蛋白尿	17 (17)	17 (16)	8 (7)	3 (1)	45 (41)
	5	血尿+蛋白尿	10 (8)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	17 (15)
	6	白血球尿	3 (3)	5 (4)	0 (0)	5 (5)	13 (12)
	7	ネフローゼ症候群	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	8	慢性糸球体腎炎	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	3 (3)
	10	IgA腎症	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	12~27	その他	4 (3)	5 (5)	2 (2)	3 (3)	14 (13)
	50	診断未定	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	3 (3)
	51	異常なし	49 (49)	65 (65)	22 (22)	13 (13)	149 (149)
		受診者合計	161 (150)	147 (145)	60 (58)	31 (29)	399 (382)
	60	未受診	47 (47)	93 (93)	48 (46)	7 (7)	195 (193)
	総合計	208 (197)	240 (238)	108 (104)	38 (36)	594 (575)	
Ⅴ 措 置 区 分	1	要医療	4 (4)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	7 (7)
	2	要経過観察	81 (73)	50 (49)	21 (20)	9 (8)	161 (150)
	3	経過観察不要	65 (65)	87 (87)	31 (31)	19 (19)	202 (202)
	4	要三次検診	11 (8)	9 (8)	5 (4)	1 (0)	26 (20)
	5	記載なし	47 (47)	93 (93)	49 (47)	9 (9)	198 (196)
		総合計	208 (197)	240 (238)	108 (104)	38 (36)	594 (575)

表3-2 腎臓検診主治医検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別				総計	
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
Ⅰ 対象者数		85	81	49	15	230	
Ⅱ 受診者数		72	57	38	15	182	
※ 受診率		84.7%	70.4%	77.6%	100.0%	79.1%	
Ⅲ 有所見者数		70 (5) 97.22%	54 (4) 94.74%	35 (3) 92.11%	15 (0) 100.00%	174 (12) 95.60%	
Ⅳ 診 断 区 分	1 無症候性血尿	33 (1)	22 (2)	14 (0)	5 (0)	74 (3)	
	2 家族性血尿	11 (0)	5 (0)	2 (0)	0 (0)	18 (0)	
	3 体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	3 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (1)	
	4 持続性蛋白尿	2 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	8 (0)	
	5 血尿+蛋白尿	3 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	8 (0)	
	6 白血球尿	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	7 ネフローゼ症候群	3 (2)	3 (0)	1 (1)	0 (0)	7 (3)	
	8 慢性糸球体腎炎	3 (0)	5 (0)	5 (1)	1 (0)	14 (1)	
	10 IgA腎症	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	7 (0)	
	11 紫斑病性腎炎	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	
	12~27 その他	7 (1)	8 (1)	5 (1)	6 (0)	26 (3)	
	30 2型糖尿病	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	50 診断未定	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	
	51 異常なし	2 (0)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	8 (2)	
		受診者合計	72 (5)	57 (5)	38 (4)	15 (0)	182 (14)
	60	未受診	13 (1)	24 (10)	11 (2)	0 (0)	48 (13)
	総合計	85 (6)	81 (15)	49 (6)	15 (0)	230 (27)	
Ⅴ 措 置 区 分	1 要医療	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	2 要経過観察	63 (4)	49 (3)	30 (2)	14 (0)	156 (9)	
	3 経過観察不要	9 (1)	7 (2)	7 (2)	0 (0)	23 (5)	
	4 要三次検診	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	5 記載なし	13 (1)	24 (10)	12 (2)	1 (0)	50 (13)	
		総合計	85 (6)	81 (15)	49 (6)	15 (0)	230 (27)

表3-3 腎臓検診三次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別				総計	
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
I 対象者数		11	10	6	1	28	
II 受診者数		10	7	6	1	24	
※ 受診率		90.9%	70.0%	100.0%	100.0%	85.7%	
III 有所見者数		10 (7) 100.00%	6 (5) 85.71%	5 (4) 83.33%	1 (0) 0.00%	22 (16) 91.67%	
IV 診 断 区 分	1	無症候性血尿	4 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (3)
	3	体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	2 (2)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	7 (6)
	4	持続性蛋白尿	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	5	血尿+蛋白尿	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
	7	ネフローゼ症候群	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	8	慢性糸球体腎炎	3 (2)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	5 (3)
	12~27	その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	51	異常なし	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
		受診者合計	10 (7)	7 (6)	6 (5)	1 (0)	24 (18)
	60	未受診	1 (1)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (3)
	総合計	11 (8)	10 (8)	6 (5)	1 (0)	28 (21)	
V 措 置 区 分	1	要医療	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	2	要経過観察	10 (7)	3 (3)	4 (4)	1 (0)	18 (14)
	3	経過観察不要	0 (0)	4 (3)	1 (1)	0 (0)	5 (4)
	4	要三次検診	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	5	記載なし	1 (1)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (3)
		総合計	11 (8)	10 (8)	6 (5)	1 (0)	28 (21)

表3-4 腎臓検診直接三次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	総計
Ⅰ 対象者数			15	40	15	2	72
Ⅱ 受診者数			12	30	10	1	53
※ 受診率			80.0%	75.0%	66.7%	50.0%	73.6%
Ⅲ 有所見者数			10 (6) 83.33%	19 (17) 63.33%	7 (4) 70.00%	1 (0) 100.00%	37 (27) 69.81%
Ⅳ 診 断 区 分	1	無症候性血尿	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	4 (2)
	3	体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	0 (0)	9 (8)	1 (1)	0 (0)	10 (9)
	4	持続性蛋白尿	1 (1)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	8 (8)
	5	血尿+蛋白尿	3 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (3)
	7	ネフローゼ症候群	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	12~27	その他	2 (1)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	6 (1)
	50	診断未定	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
	51	異常なし	2 (2)	11 (11)	3 (3)	0 (0)	16 (16)
		受診者合計	12 (8)	30 (28)	10 (7)	1 (0)	53 (43)
	60	未受診	3 (2)	10 (10)	5 (4)	1 (1)	19 (17)
	総合計	15 (10)	40 (38)	15 (11)	2 (1)	72 (60)	
Ⅴ 措 置 区 分	1	要医療	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	2	要経過観察	7 (3)	9 (8)	3 (0)	1 (0)	20 (11)
	3	経過観察不要	2 (2)	20 (19)	7 (7)	0 (0)	29 (28)
	4	要三次検診	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	5	記載なし	5 (4)	11 (11)	5 (4)	1 (1)	22 (20)
		総合計	15 (10)	40 (38)	15 (11)	2 (1)	72 (60)

表3-5 腎臓検診 二次検診からの三次検診 結果（学校種別・個別）

令和4年度【令和5年1月31日現在】

※ 措置区分の内訳 1：要医療 2：要観察 3：経過観察不要 4：要三次検診

※ 管理区分の内訳 B：登校可但し運動不可 C：軽い運動可 D：中等度の運動可 E：強い運動可 F（空白）：管理不要

1 小学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	2	家族性血尿	4	D	
2	5	血尿+蛋白尿	4	E	
3	1	無症候性血尿	4		1
4	1	無症候性血尿	4		
5	27	その他	4	B	
6	5	血尿+蛋白尿	4		
7	5	血尿+蛋白尿	4	E	
8	3	体位性蛋白尿	4	E	
9	5	血尿+蛋白尿	4	C	
10	4	持続性蛋白尿	4	E	
11	5	血尿+蛋白尿	4	E	
三次検診対象者数			11		1

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	1	無症候性血尿	2	E	1
2	8	慢性糸球体腎炎	2	E	1
3	60	未受診			
4	1	無症候性血尿	2	E	
5	1	無症候性血尿	2	E	1
6	1	無症候性血尿	2	E	
7	5	血尿+蛋白尿	2	E	
8	3	体位性蛋白尿	2	E	
9	8	慢性糸球体腎炎	2	E	
10	3	体位性蛋白尿	2	E	
11	8	慢性糸球体腎炎	2	E	
三次検診受診者数			10		受診率 90.9%

2 中学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	1	無症候性血尿	4	E	
2	4	持続性蛋白尿	4		
3	1	無症候性血尿	4	C	1
4	4	持続性蛋白尿	4	E	1
5	4	持続性蛋白尿	4	C	1
6	27	その他	4		
7	3	体位性蛋白尿	4		
8	3	体位性蛋白尿	4		
三次検診対象者数			8		3

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	1	無症候性血尿	2	E	
2	51	異常なし	3		
3	60	未受診			
4	60	未受診			1
5	60	未受診			
6	3	体位性蛋白尿	2	E	
7	3	体位性蛋白尿	2	E	
8	3	体位性蛋白尿	3		
三次検診受診者数			5		受診率 62.5%

3 高等学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	4	持続性蛋白尿	4		
2	4	持続性蛋白尿	4	B	
3	5	血尿+蛋白尿	4	C	
4	8	慢性糸球体腎炎	4	D	
5	4	持続性蛋白尿	4		
6	8	慢性糸球体腎炎	4	E	
三次検診対象者数			6		0

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	4	持続性蛋白尿	2	E	
2	8	慢性糸球体腎炎	1	E	1
3	5	血尿+蛋白尿	2	E	
4	7	ネフローゼ症候群	2	E	
5	51	異常なし	3		
6	8	慢性糸球体腎炎	2	E	
三次検診受診者数			6		受診率 100%

4 特別支援学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	4	持続性蛋白尿	4	C	
三次検診対象者数			1		0

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	51	異常なし	3		
三次検診受診者数			1		受診率 100%

二次検診→三次検診全対象者数			26		4
----------------	--	--	----	--	---

二次検診→三次検診全受診者数			22		受診率 85%
----------------	--	--	----	--	---------

表3-6 腎臓検診 二次検診以降で管理区分C以上の症例
令和4年度【令和5年1月31日現在】

小学校（4件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
二次検診	27	その他	1	B
二次検診	5	血尿+蛋白尿	1	C
主治医検診	7	ネフローゼ症候群	1	C
直接三次検診	7	ネフローゼ症候群	1	A
合計			4	

中学校（4件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
二次検診	1	無症候性血尿	1	C
二次検診	4	持続性蛋白尿	1	C
主治医検診	15	神経因性膀胱	1	C
主治医検診	11	紫斑病性腎炎	1	C
合計			4	

高等学校（3件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
二次検診	4	持続性蛋白尿	1	B
二次検診	5	血尿+蛋白尿	1	C
直接三次検診	26	アルポート症候群	1	C
合計			3	

特別支援学校（3件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
二次検診	4	持続性蛋白尿	1	C
主治医検診	12	慢性腎不全	1	C
三次検診	27	その他	1	C
合計			3	

2. 糖検診の結果

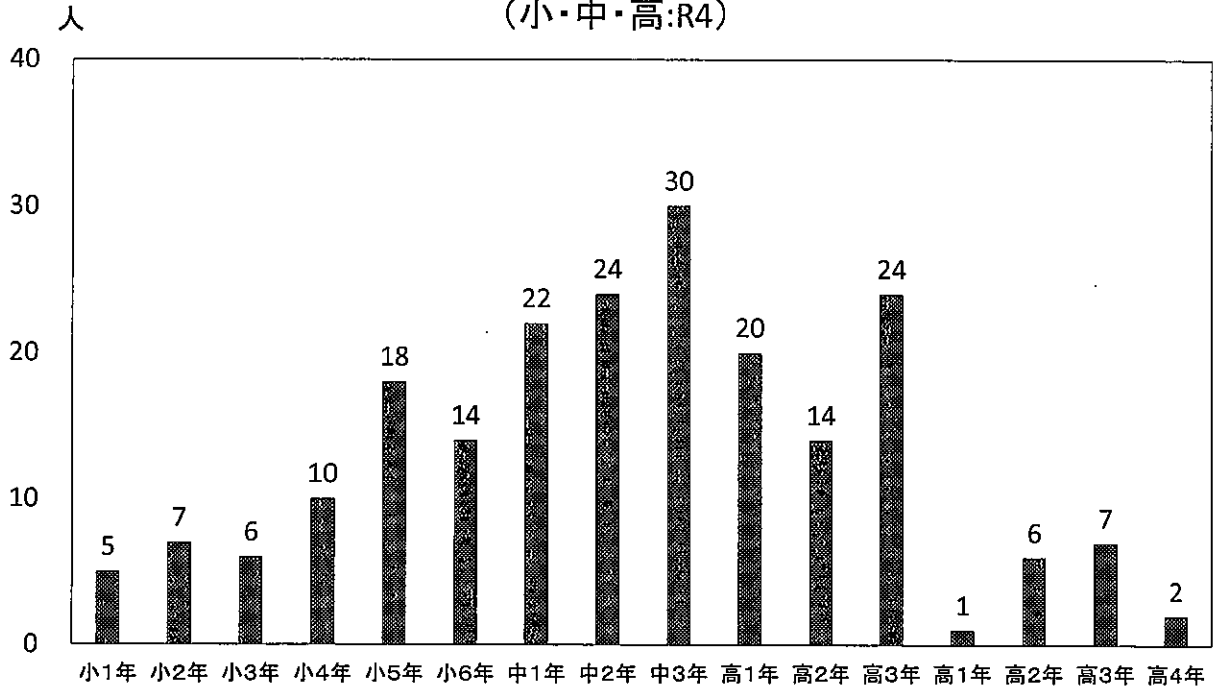
表4 糖検診実施状況(主治医検診・三次検診:小学校・中学校・高等学校・特別支援学校) まとめ
令和4年度【児童生徒健康管理対策実施要綱 報告様式(様式14-2)より】

単位:人

種 別	学 年	一 次 検 診			主 治 医 検 診 (要管理)		三 次 検 診 (初診)		
		※1 全対象者数 (在籍者数)	※2 受診者数	糖異常あり (有所見)	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	
									第1回目又は第2回目検尿
小 学 校	1年	14,255	14,204	5	2	2	3	3	
	2年	14,791	14,718	7	1	1	6	5	
	3年	14,942	14,871	6	2	2	4	4	
	4年	15,187	15,096	10	1	1	9	6	
	5年	15,588	15,453	18	9	9	9	9	
	6年	16,073	15,923	14	6	6	8	7	
	計	90,836	90,265	60	21	21	39	34	
中 学 校	1年	16,039	15,898	22	9	7	13	11	
	2年	16,602	16,287	24	6	6	18	11	
	3年	16,668	16,247	30	9	7	21	18	
	計	49,309	48,432	76	24	20	52	40	
高 等 学 校	全日制	1年	11,494	11,418	20	6	6	14	12
		2年	11,220	11,115	14	2	2	12	6
		3年	11,464	11,369	24	4	4	20	11
	定時制	1年	423	405	1	1	1		
		2年	374	319	6	3	2	3	2
		3年	377	352	7	5	2	2	2
		4年	213	180	2	1		1	1
	計	35,565	35,158	74	22	17	52	34	
特 別 支 援 学 校	小学部	1年	122	112					
		2年	113	105	2	1		1	1
		3年	154	144	1			1	1
		4年	130	128	2			2	2
		5年	121	109					
		6年	132	124	2			2	2
	中学部	1年	172	161	5	1	1	4	3
		2年	159	151	1			1	1
		3年	152	136					
	高等部	1年	277	265	2			2	2
		2年	328	317	2	2	2		
		3年	294	270	3	1	1	2	2
	計	2,154	2,022	20	5	4	15	14	
総 計	177,864	175,877	230	72	62	158	122		
受 診 率		98.9%			86.1%		77.2%		
					主治医検診 三次検診 合 計		対象者数	230	
							受診者数	184	
							受診率	80.0%	

● ※1 全対象者数(在籍者数)は5月1日現在。%は、各検診の「対象者数」に対する「受診者数」の割合。【令和5年1月31日現在】

●糖検診1回目または2回目検尿 学年別有所見者数
(小・中・高:R4)



●糖検診1回目または2回目検尿 学年別有所見者数
(特別支援:R4)

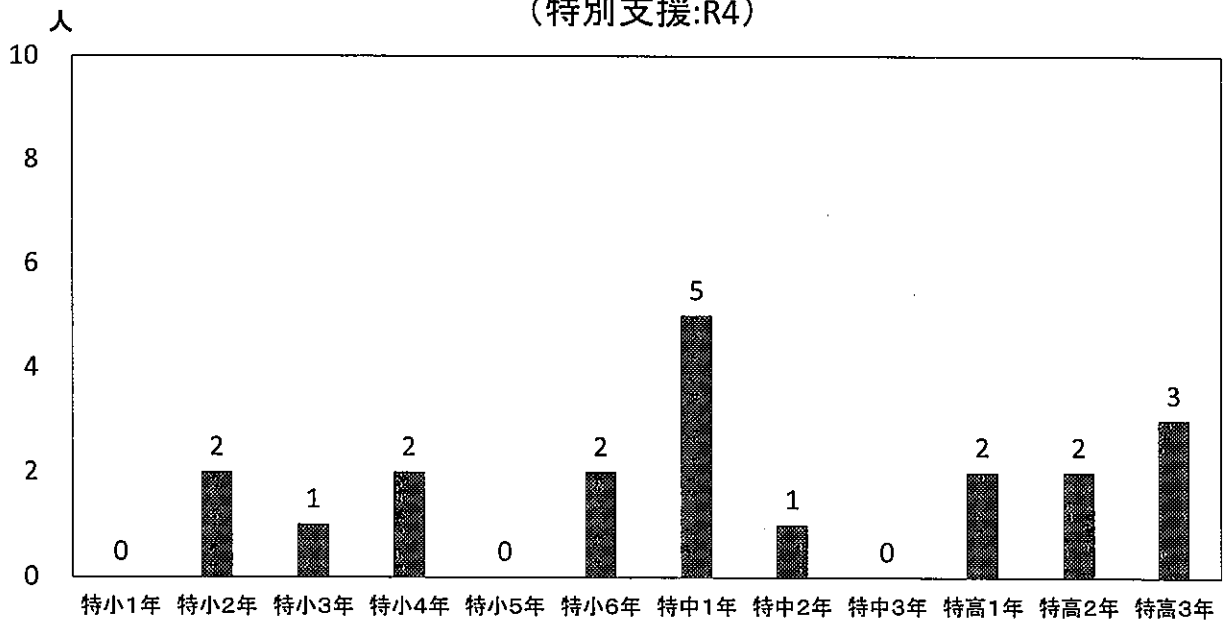


図11 糖検診 1回目または2回目検尿 学年別有所見者数

表4-1 糖検診 主治医検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	総計
I 対象者数			21	24	22	5	72
II 受診者数			21	20	17	4	62
※ 受診率			100.0%	83.3%	77.3%	80.0%	86.1%
III 有所見者数			21 (1) 100.00%	17 (1) 85.00%	17 (3) 100.00%	4 (2) 100.00%	59 (7) 95.16%
IV 診 断 区 分	4	持続性蛋白尿	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	27	その他	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	3 (1)
	28	腎性尿糖	2 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (1)
	29	1型糖尿病	18 (1)	11 (1)	7 (1)	1 (1)	37 (4)
	30	2型糖尿病	0 (0)	5 (0)	6 (0)	3 (1)	14 (1)
	31	境界型糖尿病	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	32	その他の糖尿病	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	29~32	耐糖能異常合計	18 (1)	16 (1)	13 (1)	4 (2)	51 (5)
	50	診断未定	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	51	異常なし	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
	受診者合計			21 (1)	20 (4)	17 (3)	4 (2)
60	未受診		0 (0)	4 (2)	5 (1)	1 (1)	10 (4)
総合計			21 (1)	24 (6)	22 (4)	5 (3)	72 (14)
V 措 置 区 分	1	入院加療	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	2	通院加療または経過観察	21 (1)	17 (1)	16 (3)	4 (2)	58 (7)
	3	経過観察不要	0 (0)	3 (3)	1 (0)	0 (0)	4 (3)
	4	その他 (他医への紹介等)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	5	記載なし	0 (0)	4 (2)	5 (1)	1 (1)	10 (4)
	総合計			21 (1)	24 (6)	22 (4)	5 (3)

表4-2 糖検診 三次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	総計
I 対象者数			39	52	52	15	158
II 受診者数			34	40	34	14	122
※ 受診率			87.2%	76.9%	65.4%	93.3%	77.2%
III 有所見者数			20 (17) 58.82%	19 (17) 47.50%	12 (11) 35.29%	3 (2) 21.43%	54 (47) 44.26%
V 措 置 区 分	3	体位性蛋白尿	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	5	血尿+蛋白尿	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	10	IgA腎症	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	27	その他	1 (1)	5 (4)	1 (1)	0 (0)	7 (6)
	28	腎性尿糖	8 (6)	8 (7)	4 (4)	0 (0)	20 (17)
	29	1型糖尿病	5 (4)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	8 (7)
	30	2型糖尿病	4 (4)	3 (3)	3 (3)	2 (1)	12 (11)
	31	境界型糖尿病	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	32	その他の糖尿病	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	29~32	耐糖能異常合計	9 (8)	5 (5)	5 (5)	2 (1)	21 (19)
	50	診断未定	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)
	51	異常なし	14 (14)	21 (21)	22 (22)	11 (10)	68 (67)
	受診者合計		34 (31)	40 (38)	34 (33)	14 (12)	122 (114)
	60	未受診	5 (5)	12 (12)	18 (18)	1 (1)	36 (36)
	総合計		39 (36)	52 (50)	52 (51)	15 (13)	158 (150)
	V 措 置 区 分	1	入院加療	7 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)
2		通院加療または 経過観察	8 (6)	9 (8)	6 (5)	3 (2)	26 (21)
3		経過観察不要	18 (18)	27 (26)	25 (25)	11 (10)	81 (79)
4		その他 (他医への紹介等)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5		記載なし	6 (6)	13 (13)	19 (19)	1 (1)	39 (39)
総合計		39 (36)	52 (50)	52 (51)	15 (13)	158 (150)	

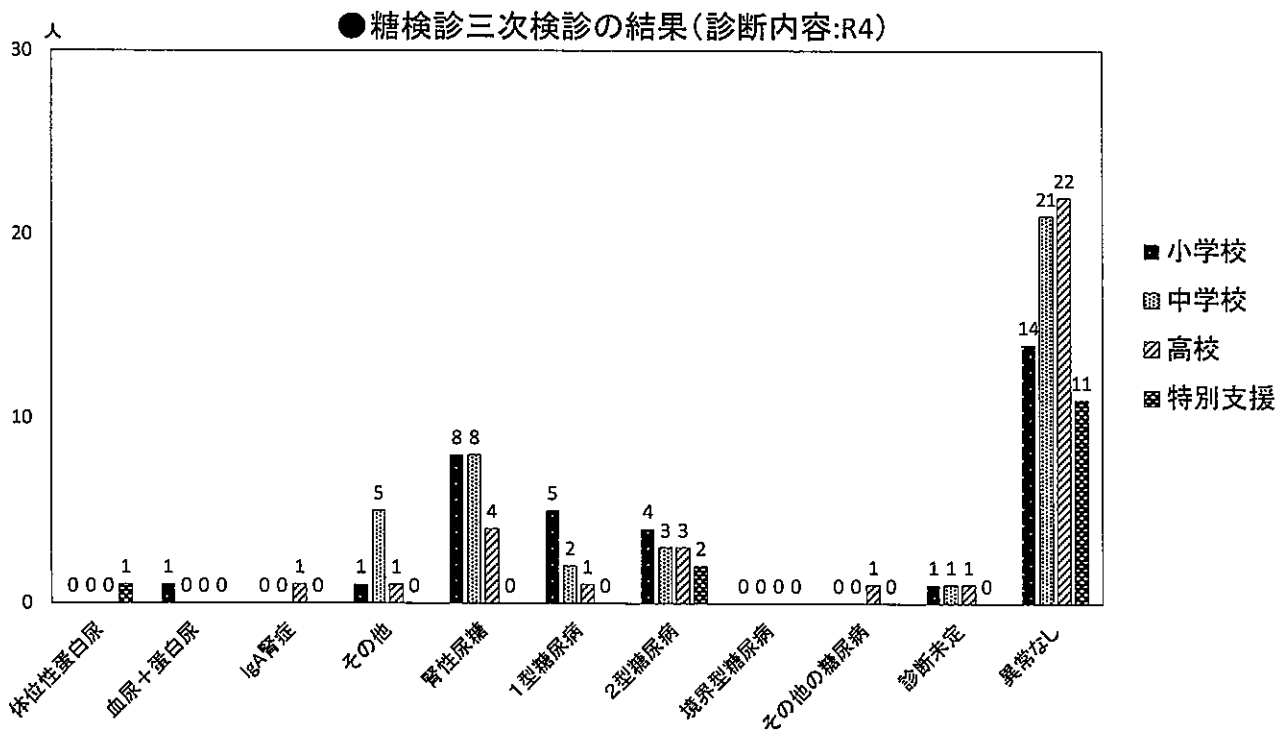
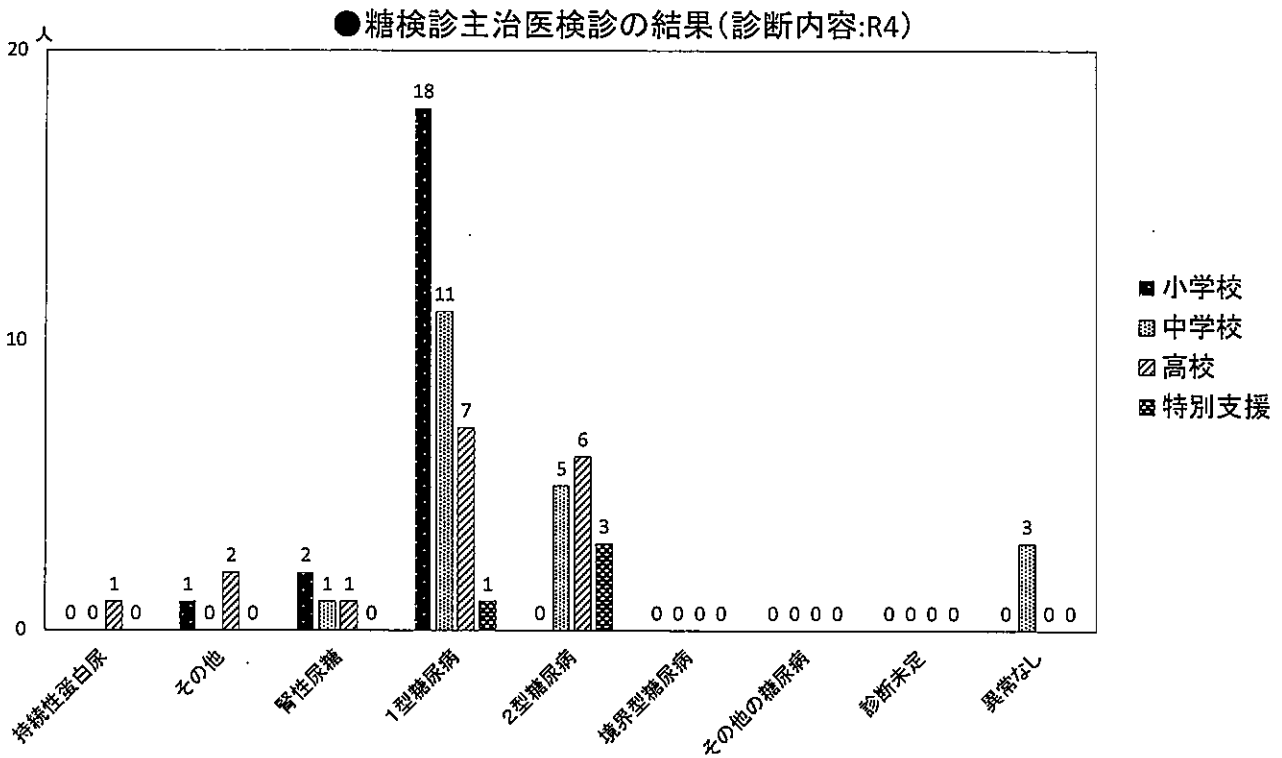
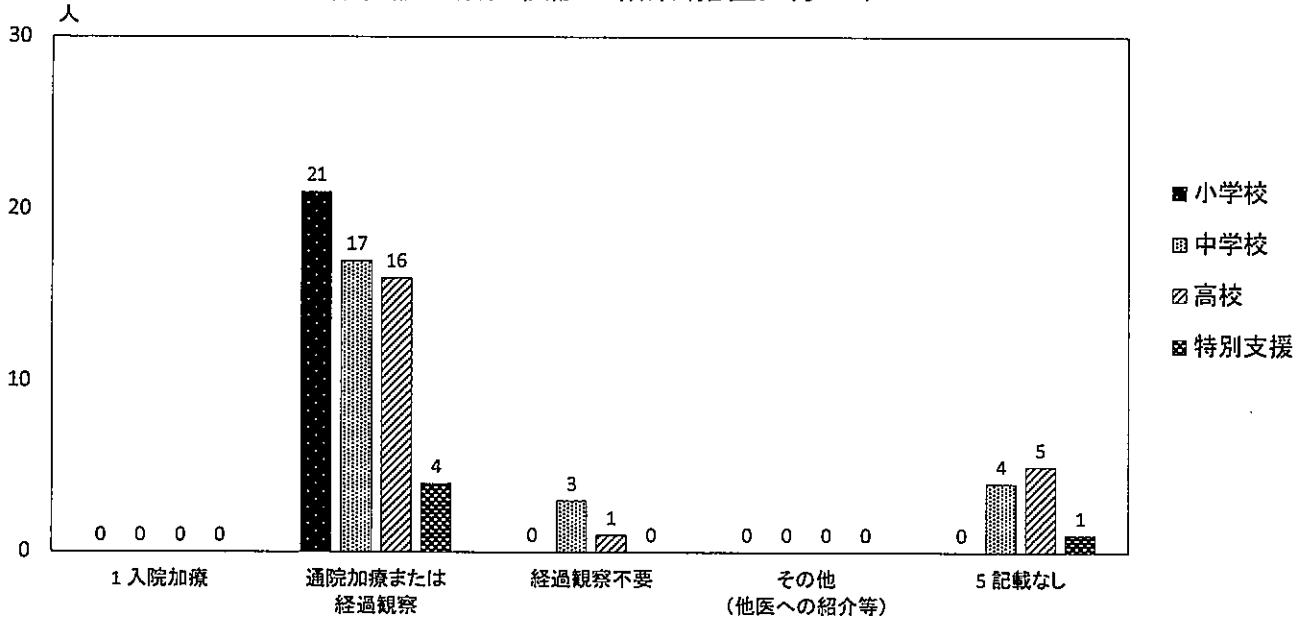


図12 糖検診主治医検診・三次検診の結果(診断内容)

●糖検診主治医検診の結果(措置区分:R4)



●糖検診三次検診の結果(措置区分:R4)

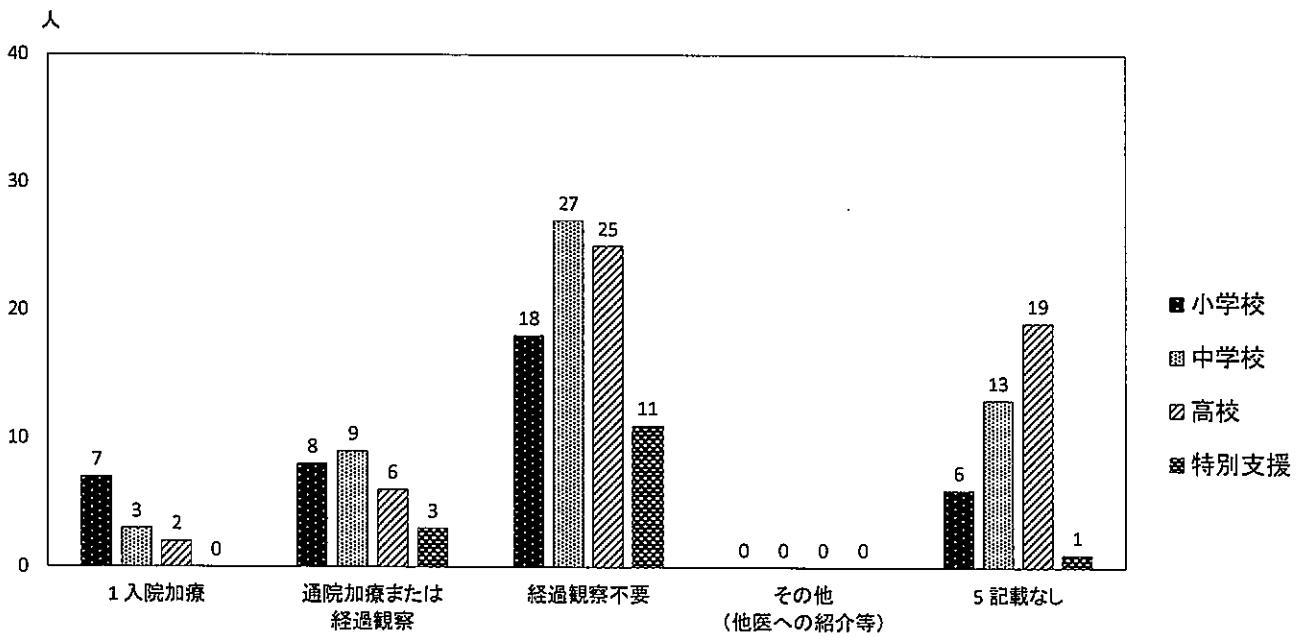


図13 糖検診 主治医検診・三次検診の結果(措置区分)

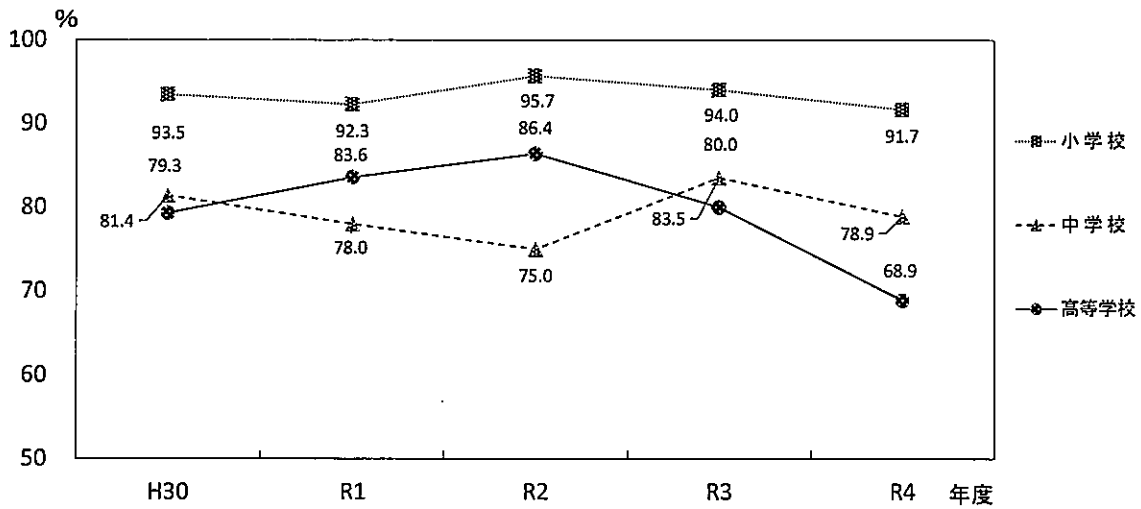


図14-1 糖検診 主治医検診・三次検診受診率の推移(H30~R4)

表5 糖検診 主治医検診・三次検診の結果 2型糖尿病と診断された数

区分	年度	H30	R1	R2	R3	R4
		小学校	新規者数	2	2	2
	総数	4	5	3	3	4
中学校	新規者数	1	6	8	1	3
	総数	3	8	11	10	8
高等学校	新規者数	2	5	4	5	3
	総数	5	7	9	11	9
合計	新規者数	5	13	14	7	10
	総数	12	20	23	24	21

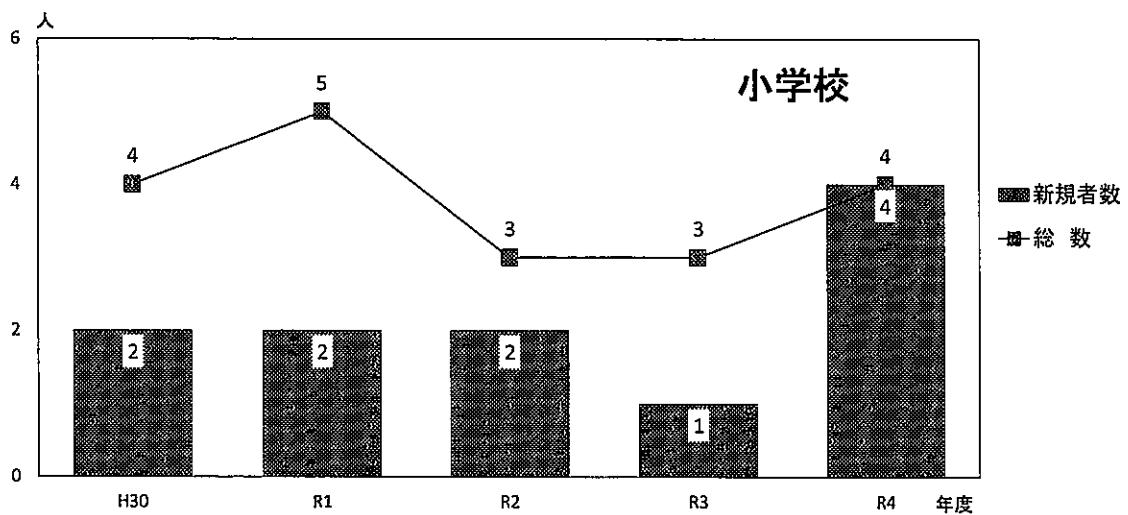


図15-1 糖検診 2型糖尿病の罹患数(小学校:H30~R4)

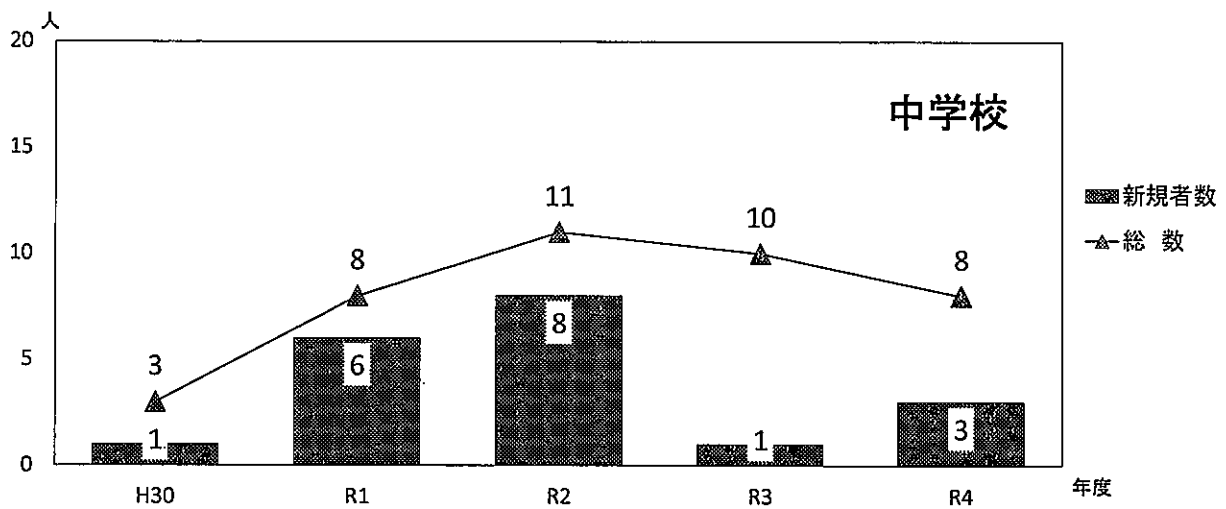


図15-2 糖検診 2型糖尿病の罹患数(中学校:H30~R4)

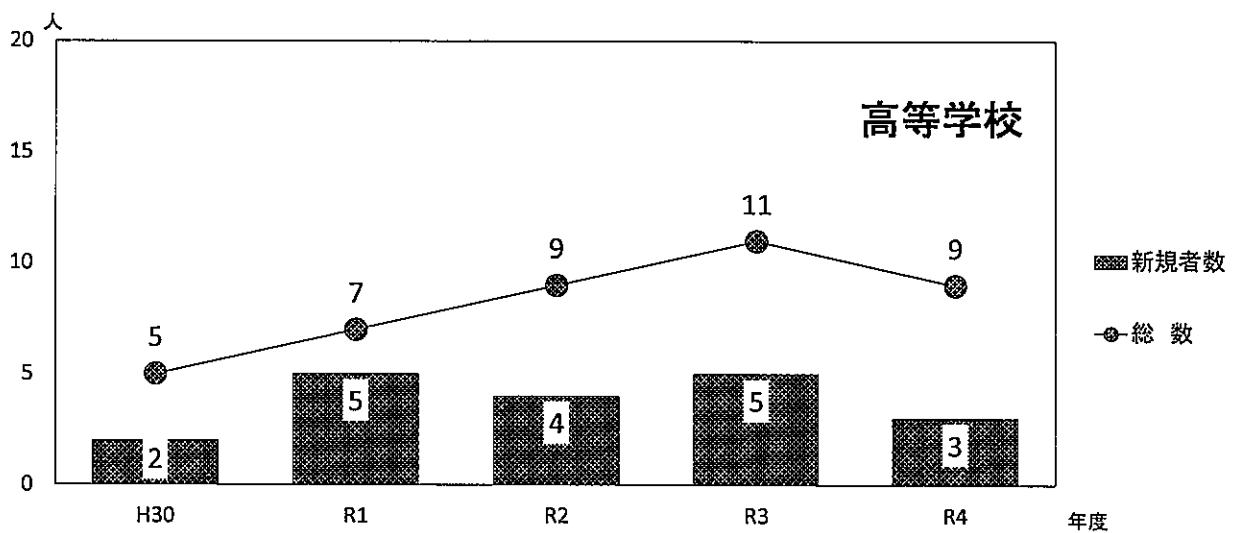


図15-3 糖検診 2型糖尿病の罹患数(高等学校:H30~R4)

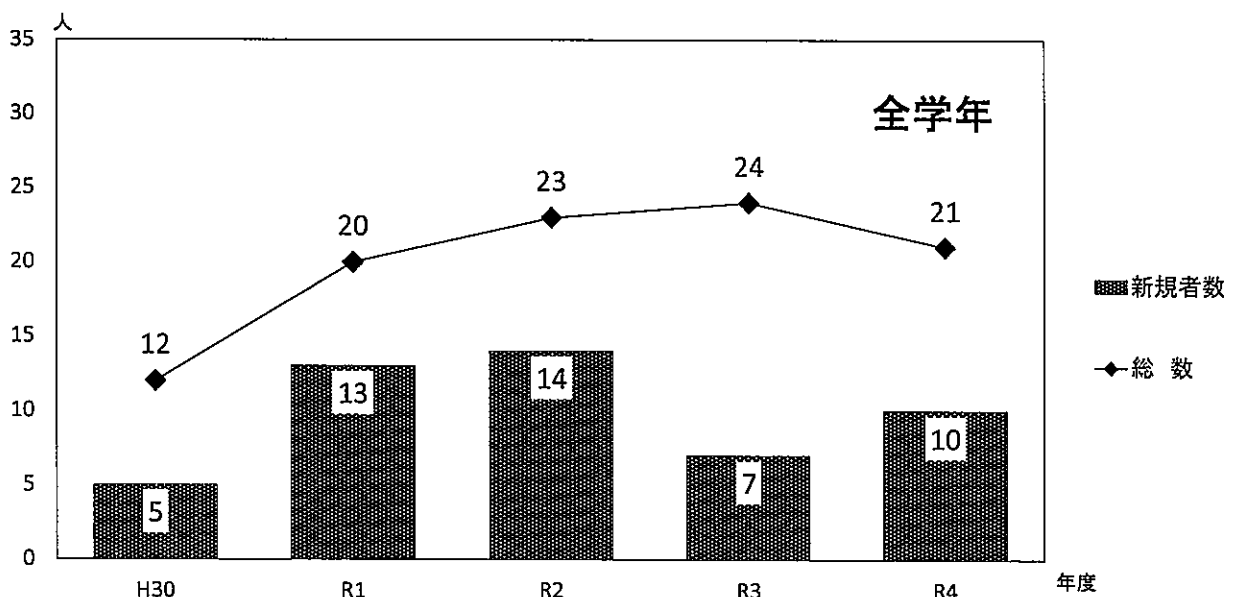


図15-4 糖検診 2型糖尿病の罹患数(全学年:H30~R4) ※特支を除く

表6 糖検診主治医検診・三次検診における糖尿病内訳

令和4年度【令和5年1月31日現在】

()は新規発見者

単位：人

小学校		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
29 1型糖尿病	主治医検診	2 (1)	1	2		9	4	18 (1)
	三次検診			2 (2)	2 (1)	1 (1)		5 (4)
	小計	2 (1)	1	4 (2)	2 (1)	10 (1)	4	23 (5)
30 2型糖尿病	主治医検診							
	三次検診		1 (1)				3 (3)	4 (4)
	小計		1 (1)				3 (3)	4 (4)
合計		2 (1)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	10 (1)	7 (3)	27 (9)

中学校		1年生	2年生	3年生	計
29 1型糖尿病	主治医検診	4 (1)	2	4	10 (1)
	三次検診	1 (1)		1 (1)	2 (2)
	小計	5 (2)	2	5 (1)	12 (3)
30 2型糖尿病	主治医検診	2	1	3	6
	三次検診	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3)
	小計	3 (1)	2 (1)	4 (1)	9 (3)
合計		8 (3)	4 (1)	9 (2)	21 (6)

高等学校		1年生	2年生	3年生	4年生	計
29 1型糖尿病	主治医検診	3 (1)	2	2		7 (1)
	三次検診	1 (1)				1 (1)
	小計	4 (2)	2	2		8 (2)
30 2型糖尿病	主治医検診	1	2	3		6
	三次検診			2 (2)	1 (1)	3 (3)
	小計	1	2	5 (2)	1 (1)	9 (3)
合計		5 (2)	4	7 (2)	1 (1)	17 (5)

表7 糖検診主治医検診・三次検診における管理区分C以上の症例(令和4年度)

小学校 (1件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
三次検診	5	血尿+蛋白尿	1	A

中学校 (1件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
三次検診	27	その他	1	C

高等学校 (4件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
主治医検診	30	2型糖尿病	1	C
主治医検診	27	その他	1	C
三次検診	32	その他の糖尿病	1	B
三次検診	29	1型糖尿病	1	A

特別支援学校 (0件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分

腎臓検診・糖検診(二次検診・主治医検診・三次検診・直接三次検診等)病名診断表

区分	二次検診等暫定診断名	備 考
1	無症候性血尿	無症候性血尿、非家族性血尿、家族性不明、血尿、微少血尿、良性血尿、特発性血尿、溶連菌感染症 含む
2	家族性血尿	家族性血尿、良性家族性血尿 含む
3	体位性蛋白尿	一過性蛋白尿、運動性蛋白尿、起立性蛋白尿、生理性蛋白尿 含む
4	持続性蛋白尿	無症候性蛋白尿、特発性蛋白尿、間欠的蛋白尿、蛋白尿 含む
5	血尿+蛋白尿	腎炎、腎炎の疑い 含む
6	白血球尿	膿尿、膀胱炎、尿路感染症 含む
7	ネフローゼ症候群	微小変化型、巣状系球体硬化症 含む
8	慢性系球体腎炎	膜性腎症、膜性増殖性腎炎、増殖性腎炎、溶血性尿毒症症候群、C3腎症 含む
9	急性系球体腎炎	急性腎炎 含む
10	IgA腎症	
11	紫斑病性腎炎	
12	慢性腎不全	
13	ナットクラッカー	
14	腎盂腎炎	腎盂腎炎、上部尿路感染症 含む
15	神経因性膀胱	
16	腎尿路結石	腎尿路結石、腎盂結石症、尿路結石、尿管結石、膀胱結石 含む
17	腎下垂、遊走腎	
18	低形成腎	低形成腎、腎形成不全、腎低形成、単腎症 含む
19	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂尿管移行部狭窄症、水腎症含む
20	膀胱尿管逆流症	
21	尿細管性アンドーシス	
22	尿細管性蛋白尿	尿細管性蛋白尿症、DENT病、LOWE症候群 含む
23	腎嚢胞	
24	腎疾患術後	腎疾患術後、ウィルム腫瘍術後、尿道下裂術後、腎移植後など。ただし、膀胱尿管逆流手術後は含まない。
25	基底膜菲薄化症候群	基底膜菲薄化症候群、菲薄基底膜病 含む
26	アルポート症候群	
27	その他	
28	腎性尿糖	
29	1型糖尿病	
30	2型糖尿病	
31	境界型糖尿病	OGTTを実施した場合に診断できる。
32	その他の糖尿病	
50	診断未定	
51	異常なし	異常なし
60	未受診	未受診

貧血検査結果

(中学2年女子・高校2年女子)

表1 中学校2年女子貧血検査結果区分該当者数等

受診者数	ヘモグロビン				ヘマトクリット			
	12未満・16以上 ※(参考基準値外)		12以上16未満 (参考基準値内)		36未満 ※(参考基準値外)		36以上 (参考基準値内)	
	数	率	数	数	数	率	数	数
6,910	578	8.4%	6,332	91.6%	297	4.3%	6,613	95.7%

表2 高等学校2年女子貧血検査結果区分該当者数等

受診者数	ヘモグロビン				ヘマトクリット			
	12未満・16以上 ※(参考基準値外)		12以上16未満 (参考基準値内)		36未満 ※(参考基準値外)		36以上 (参考基準値内)	
	数	率	数	数	数	率	数	数
4,620	479	10.4%	4,141	89.6%	208	4.5%	4,412	95.5%

※ 貧血について注意を要する範囲＝(※参考基準値外) ※ 参考基準値の出典：公益財団法人 群馬県健康づくり財団

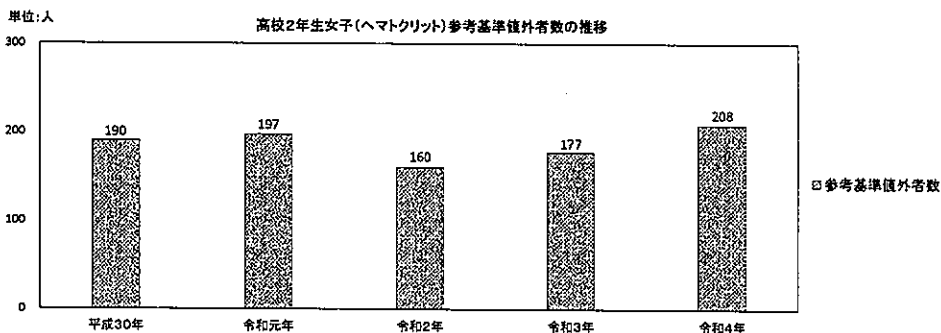
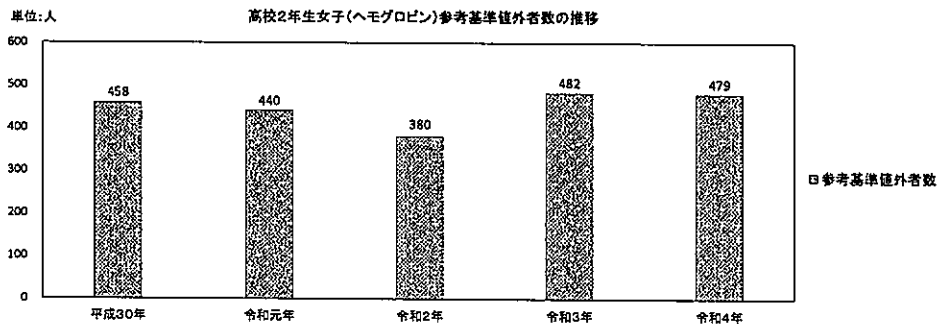
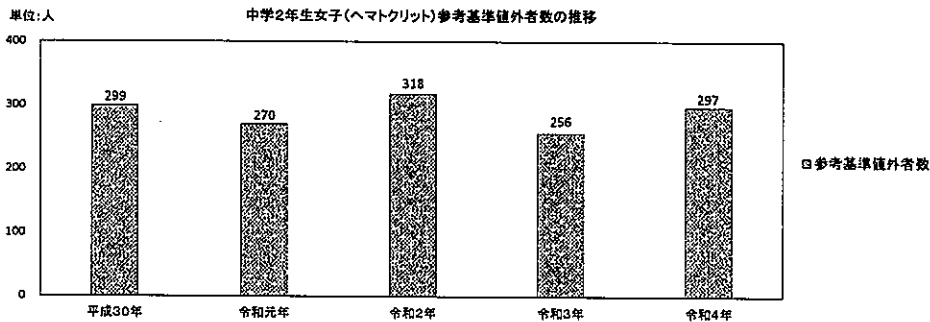
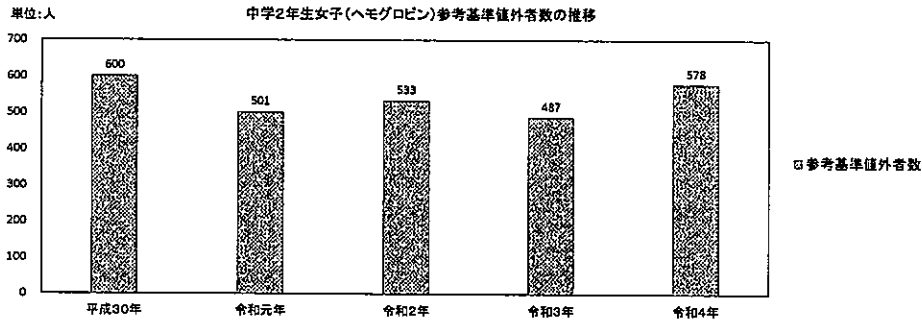


図1 中2・高2貧血検査(ヘモグロビン値・ヘマトクリット値)参考基準値外者数の推移

兒童生徒心臟檢診結果

群馬県の心臓検診について

1 令和4年度の心臓検診について

新型コロナウイルス感染症の流行下でしたが、今年度も予定どおり実施できました。

御尽力いただきました関係各所の皆様に感謝申し上げます。

2 令和4年度の心臓検診結果から分かったこと

(1) 心臓検診一次検診の結果から

一次検診の有所見率は、小1、小4、中1、高1でそれぞれ5.04%、4.58%、5.87%、6.03%でした。

判定基準の一部改訂により減少した、令和2年度とほぼ同率で推移しております。（表1～表4、図1）

(2) 心臓検診二次検診等の結果から

二次検診有所見率は、小1、小4、中1、高1でそれぞれ1.53%、1.21%、1.83%、2.47%となり、昨年度とほぼ同率でした。（表1～表4、図6）

しかし、一次検診で有所見のため、二次検診以降の受診をすすめられていても未受診の児童生徒が、例年同様、多数見受けられます。新型コロナウイルス感染症の流行下ではありますが、二次検診以降の受診をすすめる指導を、引き続きよろしく願いいたします。

小学4年生の心臓検診は義務化されていませんが、群馬県においては、25市町村において、13,995名の児童に実施されました。

小学1年から中学1年までの間に、新たな心臓病を発症することがあり、今年度は52名の小学4年生児童が、新たに異常ありとして管理されています。

また、小学4年生の心臓検診で、過去に重篤な心疾患が発見されたことがあります。

現在10市町村で未実施のため、全市町村で実施されることを期待します。（図3）

二次検診において、管理区分で管理不要とすべき、不完全右脚ブロック、異常なしの診断をⅤ区分とする不適切な管理がわずかながら見られました。各医療機関での適切な診断と管理区分の決定が求められます。(別表1-5)

全国的には、将来における心臓検診への AI の導入の動きも始まっています。AI を導入するためには、心電図の電子化、そして 12 誘導心電図の導入が必要であり、将来に向け準備が期待されます。

心臓検診の経過

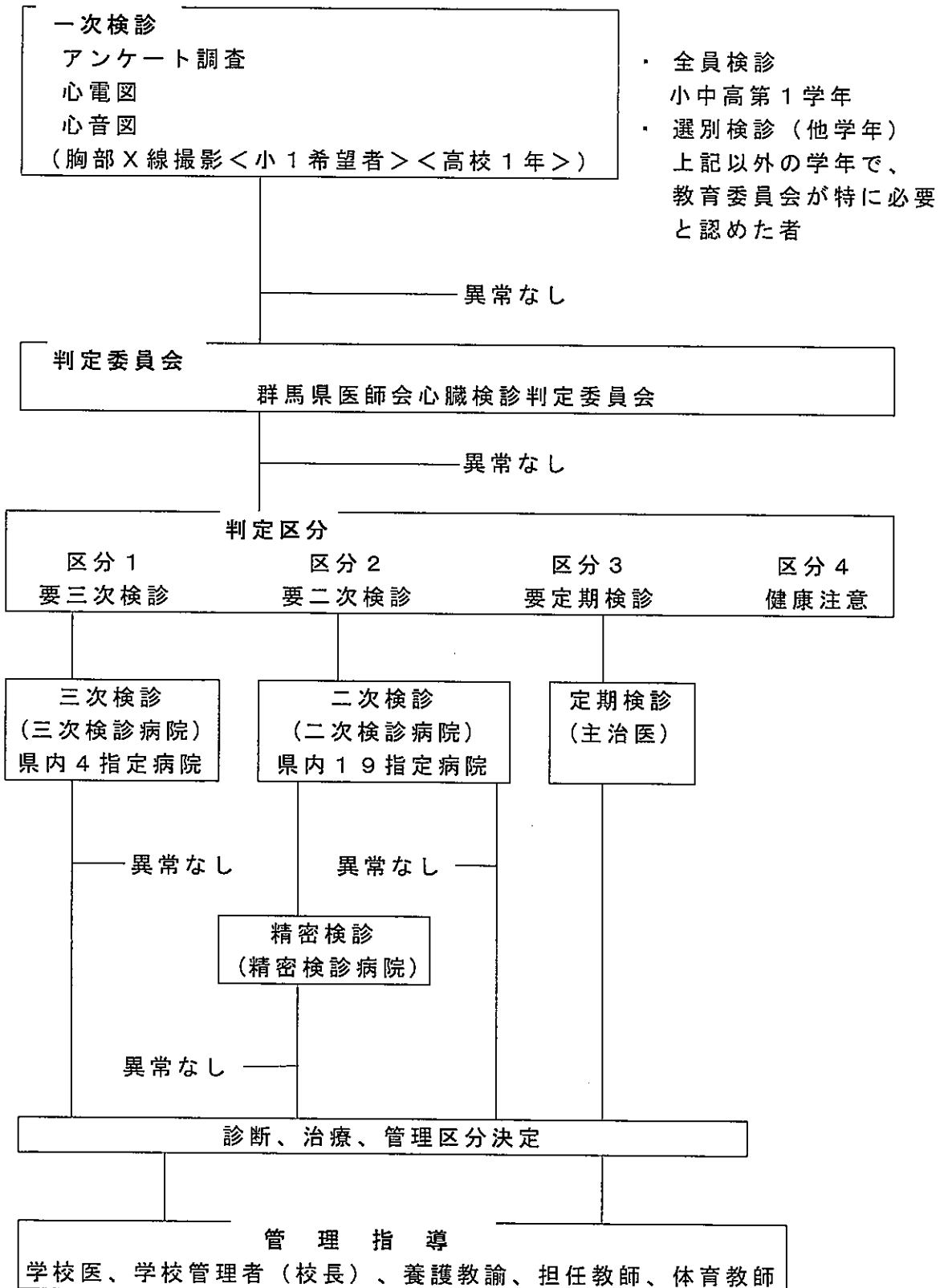


表1 小学校1年生・義務教育学校1年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 717					
		要二次検診等 676			区分4 健康注意	区分5 異常なし	
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期					
小1年生	14,213	0	327	349	41	13,496	5.04%

二次検診等 受診者数	異 常 あ り 217 (119)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	① 先天性 心臓病・異常	② その他の 心臓病・異常	③ 心電図・ 心音図異常	④ 川崎病 後遺症	⑤ その他の 異常	⑥ 診断未定	
603 (403)	128 (49)	4 (2)	67 (52)	0	2	16 (16)	386 (284)

⑧未受診者【73人】 受診率 89.20% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.53%

表2 小学校4年生・義務教育学校4年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 641					
		要二次検診等 530			区分4 健康注意	区分5 異常なし	
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期					
小4年生	13,995	1	255	274	111	13,354	4.58%

二次検診等 受診者数	異 常 あ り 170 (52)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	① 先天性 心臓病・異常	② その他の 心臓病・異常	③ 心電図・ 心音図異常	④ 川崎病 後遺症	⑤ その他の 異常	⑥ 診断未定	
345 (157)	69 (2)	2	88 (40)	0	0	11 (10)	175 (105)

⑧未受診者【185人】 受診率 65.09% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.21%

表3 中学校1年生・義務教育学校7年生・中等教育学校1年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 930					
		要二次検診等 719			区分4 健康注意	区分5 異常なし	
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期					
中1・中等1 年生	15,852	3	474	242	211	14,922	5.87%

二次検診等 受診者数	異 常 あ り 290 (137)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	① 先天性 心臓病・異常	② その他の 心臓病・異常	③ 心電図・ 心音図異常	④ 川崎病 後遺症	⑤ その他の 異常	⑥ 診断未定	
603 (404)	135 (28)	3	119 (79)	1	1	31 (30)	313 (267)

⑧未受診者【116人】 受診率 83.87% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.83%

表4 高等学校1年生・中等教育学校4年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 716					
		要二次検診等 598					
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期	区分4 健康注意	区分5 異常なし			
高1・中等4 年生	11,866	1	441	156	118	11,150	6.03%

二次検診等 受診者数	異 常 あ り 293 (187)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	① 先天性 心臓病・異常	② その他の 心臓病・異常	③ 心電図・ 心音図異常	④ 川崎病 後遺症	⑤ その他の 異常	⑥ 診断未定	
514 (367)	60 (8)	2 (2)	153 (108)	0	3 (1)	75 (68)	221 (180)

⑧未受診者【84人】 受診率 85.95% 注：()は新規発見者 二次有所見率 2.47%

表5 特別支援学校心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 98					
		要二次検診等 95					
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期	区分4 健康注意	区分5 異常なし			
小1・小4・中1 ・高1年生	646	0	27	68	3	548	15.17%

二次検診等 受診者数	異 常 あ り 64 (13)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	① 先天性 心臓病・異常	② その他の 心臓病・異常	③ 心電図・ 心音図異常	④ 川崎病 後遺症	⑤ その他の 異常	⑥ 診断未定	
80 (26)	47 (4)	4	5 (3)	0	3 (1)	5 (5)	16 (13)

⑧未受診者【15人】 受診率 84.21% 注：()は新規発見者 二次有所見率 9.91%

表6 心臓検診全対象学年まとめ

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 3,102					
		要二次検診等 2,618					
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期	区分4 健康注意	区分5 異常なし			
小1・小4・中1 ・高1年生	56,572	5	1,524	1,089	484	53,470	5.48%

二次検診等 受診者数	異 常 あ り 1,034 (508)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	① 先天性 心臓病・異常	② その他の 心臓病・異常	③ 心電図・ 心音図異常	④ 川崎病 後遺症	⑤ その他の 異常	⑥ 診断未定	
2,145 (1,357)	439 (91)	15 (4)	432 (282)	1	9 (2)	138 (129)	1,111 (849)

⑧未受診者【473人】 受診率 81.93% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.83%

※データの集計日【令和5年1月31日現在】

1. 心臓検診一次検診の結果

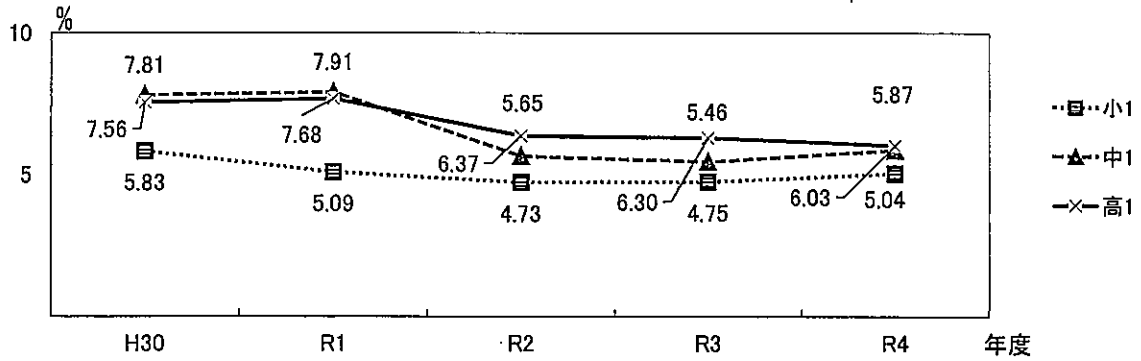


図1 心臓検診一次検診で所見のあった者の受診者に対する割合 (H30~R4)

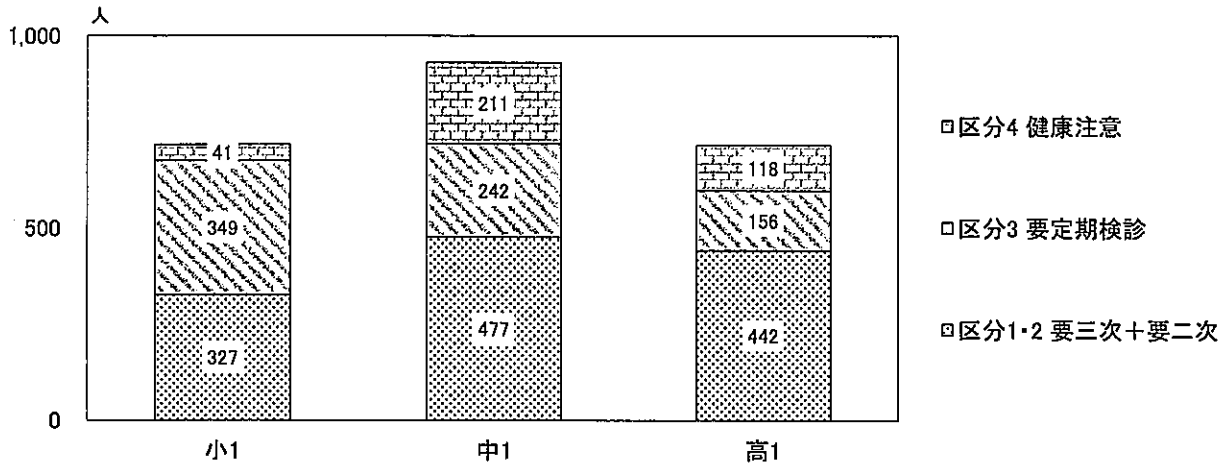


図2 心臓検診一次検診有所見者の区分 (令和4年度)

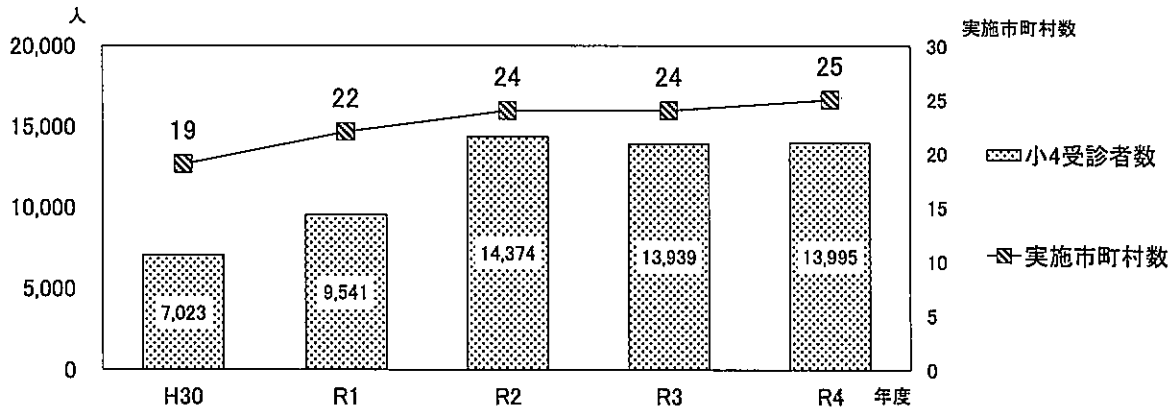


図3 小学校第4学年 心臓検診実施市町村数・小4受診者数推移 (H30~R4)

表7 小学校第4学年 心臓検診実施市町村等

実施時期		市町村名・県立学校					
1	平成26年度以前	桐生市	渋川市	東吾妻町	吉岡町	中之条町	高山村
		前橋市	県立学校	(特別支援学校小学部 第4学年)			
2	平成26年度より	沼田市	安中市	長野原町	明和町	千代田町	邑楽町
3	平成27年度より	みどり市	上野村	板倉町			
4	平成28年度より	下仁田町	大泉町				
5	平成29年度より	榛東村					
6	令和元年度より	太田市	館林市	嬭恋村			
7	令和2年度より	高崎市	伊勢崎市				
8	令和4年度より	藤岡市					

2. 心臓検診二次検診等の結果

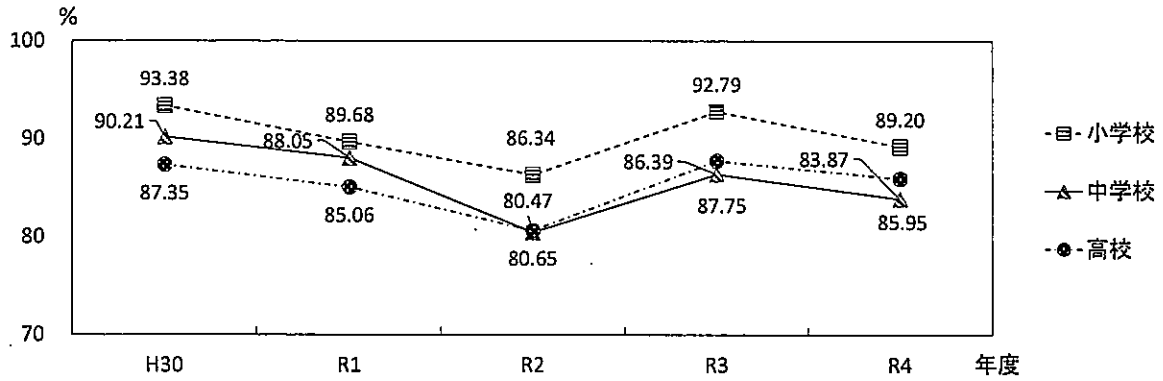


図4 心臓検診 二次検診等受診率(H30～R4)

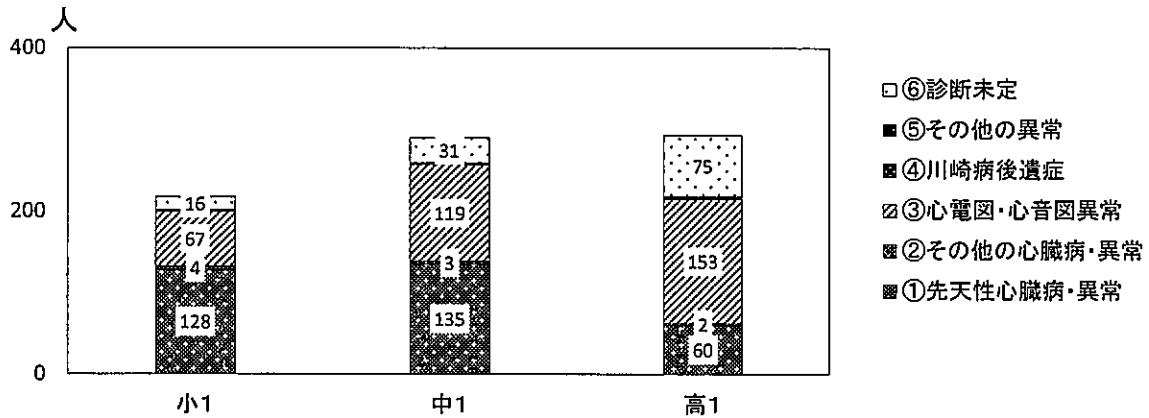


図5 心臓検診二次検診等結果(有所見診断区分:R4)

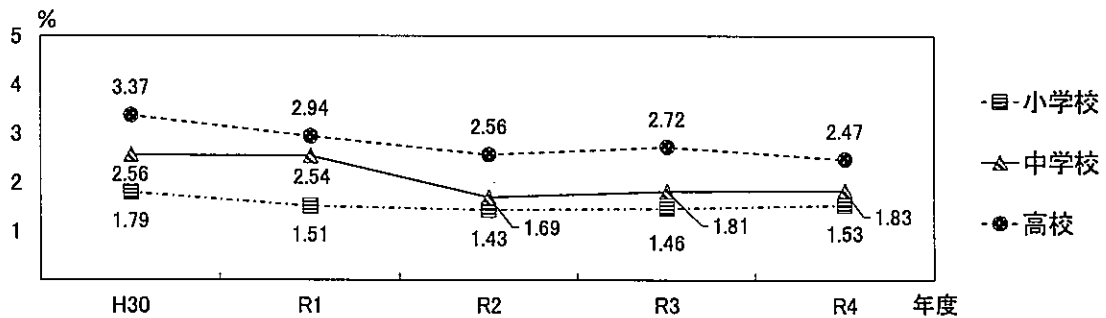


図6 二次検診等で所見があった者の一次検診受診者に対する割合(H30～R4)

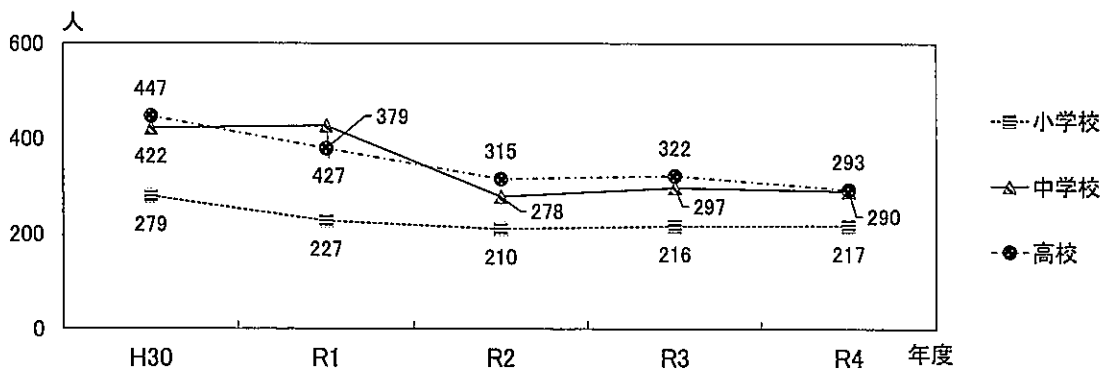


図7 二次検診等受診後の有所見者の総数(H30～R4)

別表1 小学校1年 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数		管理指導区分							管理不要				
			実数	(新規)	A	B	C類	C	D類	D	E類		E			
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	21	(8)						1			19	(7)	1	(1)
1	112	心室中隔欠損症術後	23	(9)									23	(9)		
1	113	心室中隔欠損症自然閉鎖	1												1	
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	10	(5)									10	(5)		
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	6	(3)									6	(3)		
1	131	動脈管閉存(症)	4	(1)									4	(1)		
1	132	動脈管閉存症術後	1										1			
1	152	総動脈幹遺残症術後	2										2			
1	161	(旋型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)	1	(1)									1	(1)		
1	162	肺動脈(弁)閉鎖症術後	2				1						1			
1	191	(旋型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	8	(3)									8	(3)		
1	192	肺動脈(弁)狭窄症術後	2										2			
1	1102	総肺静脈流異常症術後	3	(1)									3	(1)		
1	1121	冠(状)動脈(腫)交通	3	(2)									3	(2)		
1	1126	冠(状)動脈右支(腫)交通症	1										1			
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	5	(2)									5	(2)		
1	1162	僧帽弁逆流(軽度)	6	(5)									6	(5)		
1	1163	僧帽弁閉鎖不全症術後	2										2			
1	1171	僧帽弁膜異常	1	(1)									1	(1)		
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	5	(1)									5	(1)		
1	1222	両大血管右支起始症術後	3										3			
1	1231	フォロー四徴(症)	1										1			
1	1233	フォロー四徴症術後	3										3			
1	1272	(完全)大血管転位(転換)症術後	2										2			
1	1281	修正大血管転位(転換)(症)	1										1			
1	1301	エプスタイン君形(心)	1	(1)									1	(1)		
1	1331	大動脈二尖弁	2	(1)									2	(1)		
1	1391	単心室	2								2					
1	1392	単心室術後	1										1			
1	1411	右胸心(内蔵逆位心)	3	(3)											3	(3)
1	1412	(孤立性)右胸心	1	(1)											1	(1)
1	1480	その他の先天性心疾患	1	(1)									1	(1)		
2	232	心筋症(疑い)	3	(2)									3	(2)		
2	261	心臓腫瘍	1										1			
3	311	心室性期外収縮(疑い)	28	(21)									24	(17)	4	(4)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	12	(12)									6	(6)	6	(6)
3	3141	第1度房室ブロック	1	(1)									1	(1)		
3	3151	第2度房室ブロック	1	(1)											1	(1)
3	3171	心室内伝導障害(疑い)	1	(1)									1	(1)		
3	3173	二枝ブロック	1	(1)									1	(1)		
3	3181	完全右脚ブロック	6	(6)									4	(4)	2	(2)
3	3192	WPW症候群(疑い)	13	(8)									13	(8)		
3	3201	QT延長(症候群)	4	(1)									4	(1)		

別表1 小学校1年 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	入 数 異数 (新規)	管 理 指 導 区 分									
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不異	
5	513	右肺低形成	2									2	
6	612	不完全右脚ブロック	7 (7)										7 (7)
6	619	右室肥大	1 (1)										1 (1)
6	6110	左室肥大	7 (7)									1 (1)	6 (6)
6	6112	不整脈	1 (1)									1 (1)	
7	711	異常なし	171 (168)										171 (168)
7	712	川崎病の既往	202 (103)									117 (42)	85 (61)
7	715	機能的(無害性)(収縮期)心雑音	2 (2)										2 (2)
7	7111	洞性不整脈	1 (1)										1 (1)
7	723	Q波の異常(正常バリエーション)	2 (2)										2 (2)
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	4 (4)										4 (4)
7	736	房室解離	1 (1)										1 (1)
7	751	現在疑われない先天性心疾患	1 (1)									1 (1)	
7	770	その他の異常なし	2 (2)										2 (2)
8	811	未受診	73 (60)										73 (60)
合 計			678 (463)			1		1			2	298 (130)	374 (333)

区分	1	先天性心臓病・異常	128 (49)			1		1		2	118 (44)	6 (5)
	2	その他の心臓病・異常	4 (2)								4 (2)	
	3	心電図・心音図異常	67 (52)								54 (39)	13 (13)
	4	川崎病後遺症										
	5	その他の異常	2								2	
	6	診断未定	16 (16)								2 (2)	14 (14)
	7	異常なし	386 (284)								118 (43)	268 (241)
	二次検診等受診者 合 計			603 (403)			1		1		2	298 (130)
8	未受診	73 (60)										
総 合 計			678 (463)									

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可 C 軽い運動は可
D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 D禁E禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	89.20%
-----------------	--------

別表2 小学校4年 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ ()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数 (新規)	管理指導区分									
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不要	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	10									10	
1	112	心室中隔欠損症術後	10					1	1			8	
1	113	心室中隔欠損症自然閉鎖	2										2
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	6									6	
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	3									3	
1	131	動脈管開存(症)	1									1	
1	132	動脈管開存症術後	2									2	
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	4									3	1
1	192	肺動脈(弁)狭窄症術後	1 (1)										1 (1)
1	1102	総肺静脈環流異常症術後	1									1	
1	1112	部分肺静脈環流異常症術後	1									1	
1	1121	冠(状)動静脈(瘻)交通	1									1	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	6 (1)									6 (1)	
1	1162	僧帽弁逆流(軽度)	2									2	
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	2									2	
1	1201	大動脈縮窄(症)	1			1							
1	1215	大動脈弓離断症術後	1									1	
1	1222	两大血管右室起始症術後	1									1	
1	1233	ファロー四徴症術後	4									4	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	3							1		2	
1	1272	(完全)大血管転位(転換)症術後	2									2	
1	1301	エプスタイン奇形(心)	1									1	
1	1391	単心室	2								2		
1	1392	単心室術後	1							1			
1	1480	その他の先天性心疾患	1									1	
2	231	特発性心筋症	1			1							
2	284	心臓腫瘍術後	1									1	
3	311	心室性期外収縮(疑い)	49 (21)									40 (15)	9 (6)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	8 (6)									2	6 (6)
3	391	上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)	1									1	
3	3101	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)	1									1	
3	3141	第1度房室ブロック	4 (3)									1	3 (3)
3	3151	第2度房室ブロック	2 (1)									1	1 (1)
3	3181	完全右脚ブロック	5 (4)									3 (2)	2 (2)
3	3192	WPW症候群(疑い)	9 (3)									9 (3)	
3	3201	QT延長(症候群)	8 (2)									8 (2)	
3	3211	ブルガタ症候群(心電図)	1									1	

別表2 小学校4年 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ ()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数 (新規)	管理指導区分								
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不要
6	612	不完全右脚ブロック	11 (10)								1	10 (10)
7	711	異常なし	85 (84)									85 (84)
7	712	川崎病の既往	81 (12)								44 (2)	37 (10)
7	715	機能性(無害性)(収縮期)心雑音	1 (1)									1 (1)
7	723	Q波の異常(正常バリエーション)	1 (1)									1 (1)
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	2 (2)									2 (2)
7	770	その他の異常なし	5 (5)									5 (5)
8	811	未受診	185 (126)									185 (126)
合計			530 (283)			2		1	1	4	171 (25)	351 (258)

区分	1	先天性心臓病・異常	69 (2)			1		1	1	4	58 (1)	4 (1)
	2	その他の心臓病・異常	2			1					1	
	3	心電図・心音図異常	88 (40)								67 (22)	21 (18)
	4	川崎病後遺症										
	5	その他の異常										
	6	診断未定	11 (10)								1	10 (10)
	7	異常なし	175 (105)								44 (2)	131 (103)
	二次検診等受診者 合計		345 (157)			2		1	1	4	171 (25)	166 (132)
	8	未受診	185 (126)									
	総合計		530 (283)									

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可 C 軽い運動は可

D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 D禁E禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	65.09%
-----------------	--------

別表3 中学校1年 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ ()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数 (新規)	管理指導区分									
				A	B	C類	C	D類	D	E類	E	管理不要	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	16									16	
1	112	心室中隔欠損症術後	11								1	10	
1	113	心室中隔欠損症自然閉鎖	1									1	
1	115	心室中隔欠損症の既往	1										1
1	121	心室中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	11 (2)									11 (2)	
1	122	心室中隔(二次孔)欠損症術後	13									13	
1	131	動脈管閉存(症)	2 (1)						1			1 (1)	
1	132	動脈管閉存症術後	7									5	2
1	161	(純型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)	2			1						1	
1	162	肺動脈(弁)閉鎖症術後	1									1	
1	181	肺動脈(弁)閉鎖不全(症)	1									1	
1	182	肺動脈(弁)閉鎖不全症術後	1									1	
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	9									8	1
1	192	肺動脈(弁)狭窄症術後	1									1	
1	1101	短肺動脈環異常(症)	1									1	
1	1102	短肺動脈環異常症術後	2									2	
1	1121	豆(状)動脈(脈)交通	1									1	
1	1123	豆(状)動脈肺動脈(脈)交通症	1 (1)									1 (1)	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	8 (4)									8 (4)	2
1	1162	僧帽弁逆流(程度)	15 (12)									13 (11)	2 (1)
1	1181	大動脈弁狭窄	2									2	
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	5									5	
1	1201	大動脈狭窄(症)	1									1	
1	1215	大動脈弓屈曲症術後	1									1	
1	1233	フロー-西側症術後	6 (1)									6 (1)	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	3 (2)									1 (1)	2 (2)
1	1252	三尖弁閉鎖不全(逆流)	1 (1)										1 (1)
1	1271	(完全)大血管転位(転位)(症)	1								1		
1	1272	(完全)大血管転位(転位)症術後	1								1		
1	1281	移行大血管転位(転位)(症)	1									1	
1	1311	三(心)房心	2 (2)									2 (2)	
1	1391	単心室	1									1	
1	1392	単心室術後	2									2	
1	1441	(器)肺動脈弁逆流(症)	1 (1)										1 (1)
1	1480	その他の先天性心疾患	2									2	
2	232	心筋症(疑い)	1									1	
2	233	巨大型心筋症(疑い)	1							1			
2	234	拡張(つっ血)型心筋症(疑い)	1			1							
3	311	心室性期外収縮(疑い)	53 (39)									44 (30)	9 (9)
3	321	心室性(上室性)期外収縮	15 (10)									9 (6)	6 (4)
3	3101	異存性上室性(心房性)頻脈(症)(疑い)	1									1	
3	3141	第1度房室ブロック	9 (6)									3	6 (6)
3	3151	第2度房室ブロック	5 (2)									5 (2)	
3	3153	ウエンケハツハ型第2度房室ブロック	1 (1)									1 (1)	
3	3181	完全右脚ブロック	8 (6)									3 (1)	5 (5)
3	3192	WPW症候群(疑い)	13 (6)									12 (5)	1 (1)

別表3 中学校1年 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ ()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 (新規)	管理指導区分								管理不要	
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E		
3	3201	QT延長(反斜群)	12 (7)								1	10 (6)	1 (1)
3	3231	心室(両者)誘発	2 (2)									2 (2)	
4	411	川崎病発熱症(の既往)	1									1	
5	536	マルファン症候群	1									1	
6	611	心電図異常	1 (1)										1 (1)
6	612	不完全右脚ブロック	17 (16)									1	16 (16)
6	617	右軸傾位	1 (1)										1 (1)
6	619	右室肥大	2 (2)										2 (2)
6	6110	左室肥大	4 (4)										4 (4)
6	6112	不整脈	1 (1)										1 (1)
6	6115	右脚ブロック	1 (1)										1 (1)
6	6122	高電位(差)	1 (1)										1 (1)
6	622	収縮期クリック	1 (1)										1 (1)
6	627	3音、4音	1 (1)										1 (1)
6	631	心拡大(拡張)	1 (1)										1 (1)
7	711	異常なし	247 (236)									1 (1)	246 (235)
7	712	川崎病の既往	48 (14)									10 (2)	32 (12)
7	715	壊壊性(無害性)(収縮期)心雑音	7 (7)										7 (7)
7	721	不完全右脚ブロック(生理的)(正常/リアント)	1 (1)										1 (1)
7	725	T波の異常(正常/リアント)	8 (5)										6 (5)
7	736	房室解離	1 (1)										1 (1)
7	751	現在疑われない先天性心疾患	1 (1)									1 (1)	
7	770	その他の異常なし	2 (2)										2 (2)
8	811	未受診	116 (80)										116 (80)
		合計	719 (484)			2		1	1	4		231 (81)	480 (403)

1	先天性心臓病・異常	135 (28)			1		1		3	118 (23)	12 (5)
2	その他の心臓病・異常	3			1		1		1		
3	心臓病・心音図異常	119 (79)							1	90 (52)	28 (26)
4	川崎病後遺症	1								1	
5	その他の異常	1								1	
6	診断未定	31 (20)								2 (1)	29 (29)
7	異常なし	313 (287)								18 (4)	295 (283)
	二次検診等受診者 合計	603 (404)			2		1	1	4	231 (81)	354 (323)
8	未受診	116 (80)									
	総 合 計	719 (484)									

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 患状はできるが運動は不可 C 軽い運動は可
D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 D※E※等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	83.87%
-----------------	--------

別表4 高等学校1年(中等4年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数(新規)	管理指導区分										
				A	B類	B	C類	C	D類	D	E類	E	管理不要	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	10										10	
1	112	心室中隔欠損症術後	5										4	1
1	113	心室中隔欠損症自然閉鎖	2 (1)											2 (1)
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	4										3	1
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	5										5	
1	132	動脈管閉存症術後	3										2	1
1	161	(純型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)	1								1			
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	3 (1)										2 (1)	1
1	1122	冠(状)動脈(瘻)交通症術後	1										1	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	8 (4)										5 (3)	3 (1)
1	1162	僧帽弁逆流(軽度)	1										1	
1	1181	大動脈弁狭窄	1									1		
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	1										1	
1	1231	フォロー四徴(症)	1										1	
1	1233	フォロー四徴症術後	5								1		4	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	1										1	
1	1271	(完全)大血管転位(転換)(症)	1										1	
1	1301	エプスタイン奇形(心)	1								1			
1	1391	単心室	1										1	
1	1392	単心室術後	1								1			
1	1441	(冠)静脈洞弁遺残(症)	2 (2)										1 (1)	1 (1)
1	1452	肺動脈性肺高血圧症	1								1			
1	1473	フォンタン術後	1										1	
2	232	心筋症(疑い)	1 (1)										1 (1)	
2	233	肥大型心筋症(疑い)	1 (1)								1 (1)			
3	311	心室性期外収縮(疑い)	55 (38)					1			2 (1)		25 (15)	27 (22)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	18 (14)										5 (4)	13 (10)
3	371	心室性頻脈(拍)症(疑い)	1				1							
3	3101	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)	1								1			
3	3121	洞機能不全症候群(疑い)	2 (2)										1 (1)	1 (1)
3	3141	第1度房室ブロック	13 (9)										2 (1)	11 (8)
3	3151	第2度房室ブロック	2 (2)											2 (2)
3	3153	ウエンケバッハ型第2度房室ブロック	10 (10)										3 (3)	7 (7)
3	3161	第3度房室ブロック	1										1	
3	3172	左脚前枝ブロック	1 (1)											1 (1)
3	3181	完全右脚ブロック	10 (8)										2 (1)	8 (7)
3	3192	WPW症候群(疑い)	14 (7)										10 (5)	4 (2)
3	3193	FR(O)短縮(症候群)(疑い)	1 (1)											1 (1)
3	3201	QT延長(症候群)	22 (15)								1 (1)	1 (1)	12 (5)	8 (8)
3	3211	ブルガタ症候群(心電図)	1 (1)											1 (1)
3	3231	心室(固有)頻律	1										1	
5	536	マルファン症候群	1								1			
5	541	漏斗胸(術後)	2 (1)										1	1 (1)

別表4 高等学校1年（中等4年）二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※（ ）内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数（新規）	管理指導区分										
				A	B禁	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不要	
6	611	心電図異常	19 (16)										5 (2)	14 (14)
6	612	不完全右脚ブロック	40 (37)										7 (5)	33 (32)
6	615	STの異常	3 (3)											3 (3)
6	617	右軸偏位	1 (1)											1 (1)
6	6110	左室肥大	2 (2)											2 (2)
6	6115	右脚ブロック	2 (2)											2 (2)
6	6122	高電位(逆)	3 (3)											3 (3)
6	6124	非特異的ST異常	2 (2)											2 (2)
6	624	心雑音	1 (1)											1 (1)
6	631	心拡大(拡張)	2 (1)											2 (1)
7	711	異常なし	138 (125)											138 (125)
7	712	川崎病の既往	37 (13)										4 (1)	33 (12)
7	714	スポーツ心臓	1 (1)											1 (1)
7	715	機能性(無害性)(収縮期)心雑音	9 (9)											9 (9)
7	716	卵円孔閉存	1 (1)											1 (1)
7	717	(生理的)洞性徐脈	6 (8)										1 (1)	7 (7)
7	718	(生理的)洞性頻脈	1 (1)											1 (1)
7	719	洞(性)調律	2 (1)										1	1 (1)
7	723	Q波の異常(正常バリエーション)	2 (2)											2 (2)
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	10 (9)										1	9 (9)
7	7211	高電位(正常バリエーション)	1 (1)											1 (1)
7	731	調律異常(疑い)	1 (1)										1 (1)	
7	734	(下部)心房調律	1 (1)											1 (1)
7	736	房室解離	1 (1)											1 (1)
7	751	現在疑われない先天性心疾患	4 (4)										1 (1)	3 (3)
7	770	その他の異常なし	4 (2)											4 (2)
8	811	未受診	84 (62)											84 (62)
合計			598 (429)				1	1	3 (2)	9 (2)	1	129 (52)	454 (373)	

区分	1	先天性心臓病・異常	60 (8)						1	4	1	44 (5)	10 (3)
	2	その他の心臓病・異常	2 (2)						1 (1)			1 (1)	
	3	心電図・心音図異常	153 (108)			1	1	1 (1)	4 (2)			62 (35)	84 (70)
	4	川崎病後遺症											
	5	その他の異常	3 (1)							1		1	1 (1)
	6	診断未定	75 (68)									12 (7)	63 (61)
	7	異常なし	221 (180)									9 (4)	212 (176)
		二次検診等受診者 合計	514 (367)				1	1	3 (2)	9 (2)	1	129 (52)	370 (311)
	8	未受診	84 (62)										
		合計	598 (429)										

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 豊後ができるが運動は不可 C 軽い運動は可

D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 D禁E禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	85.95%
-----------------	--------

別表5 特別支援学校(小1・小4・中1・高1) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数 (新規)	管理指導区分									
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不要	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	3									3	
1	112	心室中隔欠損症術後	8 (1)									7	1 (1)
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	4									4	
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	4 (1)					1				3 (1)	
1	132	動脈管閉存症術後	3									2	1
1	152	総動脈幹通経症術後	1					1					
1	1102	総肺静脈環流異常症術後	1									1	
1	1121	冠(状)動静脈(瘻)交通	2 (1)									2 (1)	
1	1135	房室中隔欠損症(ADSD)術後	1 (1)										1 (1)
1	1181	大動脈弁狭窄	1									1	
1	1182	大動脈弁上狭窄	1									1	
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	2				1					1	
1	1203	大動脈縮窄症術後	2									2	
1	1204	大動脈縮窄症複合術後	1									1	
1	1222	両大血管右室起始症術後	1									1	
1	1231	フォロー四徴(症)	1									1	
1	1233	フォロー四徴症術後	4								1	3	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	1									1	
1	1271	(完全)大血管転位(転換)(症)	1				1						
1	1312	三心房心術後	1			1							
1	1341	左心低形成症候群	1			1							
1	1391	単心室	1			1							
1	1451	(原発性)肺高血圧症	1			1							
1	1480	その他の先天性心疾患	1									1	
2	224	心筋炎の既往	1								1		
2	233	肥大型心筋症(疑い)	2					1				1	
2	234	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)	1			1							
3	311	心室性期外収縮(疑い)	1 (1)									1 (1)	
3	3192	WPW症候群(疑い)	4 (2)									3 (1)	1 (1)
5	533	(進行性)筋ジストロフィ症	2 (1)								1 (1)	1	
5	560	その他の異常	1									1	
6	611	心電図異常	2 (2)										2 (2)
6	612	不完全右脚ブロック	3 (3)										3 (3)
7	711	異常なし	13 (11)										13 (11)
7	712	川崎病の既往	2 (1)										2 (1)
7	715	機能性(無害性)(収縮期)心雑音	1 (1)										1 (1)
8	811	未受診	15 (6)										15 (6)
		合計	95 (32)			5	2	3			3 (1)	42 (4)	40 (27)

区分	1	先天性心臓病・異常	47 (4)			4	2	2			1	35 (2)	3 (2)
	2	その他の心臓病・異常	4			1		1			1	1	
	3	心電図・心音図異常	5									4 (2)	1 (1)
	4	川崎病後遺症											
	5	その他の異常	3 (1)								1 (1)	2	
	6	診断未定	5 (5)										5 (5)
	7	異常なし	16 (13)										16 (13)
		二次検診等受診者 合計	80 (26)			5	2	3			3 (1)	42 (4)	25 (21)
	8	未受診	15 (6)										
		合計	95 (32)										

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 学校ではできるが運動は不可 C 軽い運動は可

D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 D禁E禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	84.21%
-----------------	--------

表8 心臓検診二次検診等結果 各管理区分の人数（令和4年度）

	E禁以上	E	管理不要	計
小学校（小1・小4）	12	469	725	1,206
中学校（中1）	8	231	480	719
高等学校（高1）	15	129	454	598
計	35	829	1,659	2,523

表9 心臓検診二次検診等結果 管理区分C以上の症例（令和4年度）

小学校（小1：1件）

コード	区分	二次・三次検診診断名	管理指導区分
162	先天性心臓病・異常	肺動脈(弁)閉鎖症術後	C禁

中学校（中1：2件）

コード	区分	二次・三次検診診断名	管理指導区分
161	先天性心臓病・異常	(純型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)	C禁
234	その他の心臓病・異常	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)	C禁

高等学校（高1：2件）

コード	区分	二次・三次検診診断名	管理指導区分
371	心電図・心音図異常	心室性頻脈(拍)症(疑い)	C禁
311	心電図・心音図異常	心室性期外収縮(疑い)	C

<管理指導区分>

- A 在宅医療または入院治療が必要なもの
- B 登校はできるが運動は不可
- C 軽い運動は可
- D 中程度の運動も可
- E 強い運動も可

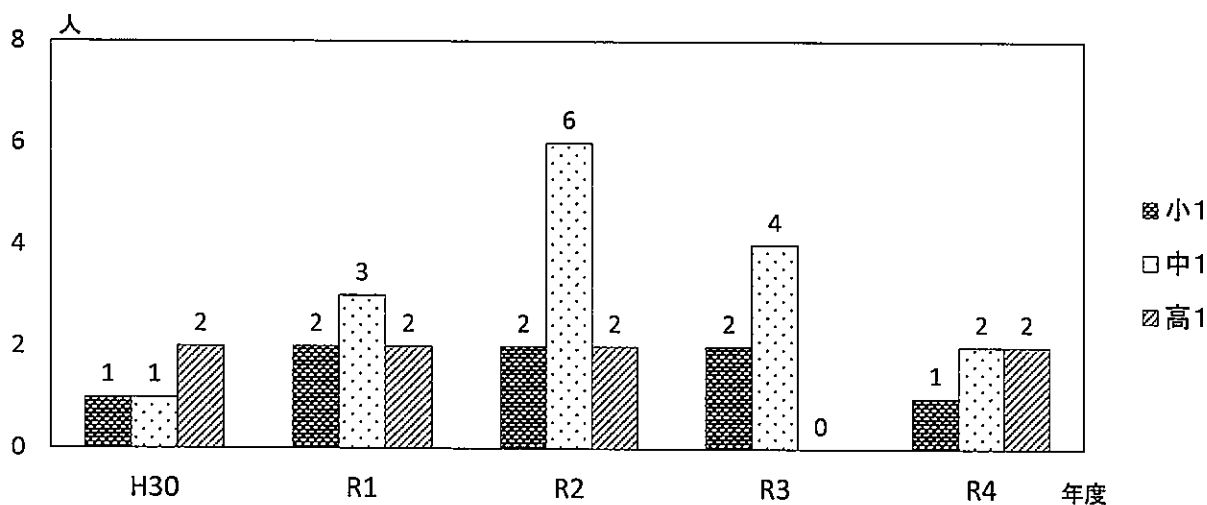


図6 心臓検診 二次検診等結果 管理区分C以上の症例数

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断大分 類名	二次・三 次病名 コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
111	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損(症)(疑い)	ア	心室中隔欠損および術後
112	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症術後	ア	心室中隔欠損および術後
113	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症自然閉鎖	ア	心室中隔欠損および術後
114	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症閉鎖過程	ア	心室中隔欠損および術後
115	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症の既往	ア	心室中隔欠損および術後
116	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+ASD+PDA	ア	心室中隔欠損および術後
117	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+ASD	ア	心室中隔欠損および術後
118	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+PDA	ア	心室中隔欠損および術後
119	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+PS	ア	心室中隔欠損および術後
121	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	イ	心房中隔欠損および術後
122	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	心房中隔(二次孔)欠損症術後	イ	心房中隔欠損および術後
123	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	ASD+PDA	イ	心房中隔欠損および術後
124	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	ASD+PAPVR	イ	心房中隔欠損および術後
125	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	ASD+PS	イ	心房中隔欠損および術後
126	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	イ	心房中隔欠損および術後
131	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	動脈管開存(症)		動脈管開存および術後
132	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	動脈管開存症術後		動脈管開存および術後
133	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	動脈管開存症の既往(自然閉鎖)		動脈管開存および術後
134	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	PDA+PS		動脈管開存および術後
141	1	先天性心臓病・異常	14	動脈管動脈瘤	動脈管動脈瘤		動脈管動脈瘤および術後
151	1	先天性心臓病・異常	15	総動脈幹遺残(TRUNCUS)	総動脈幹遺残(症)		総動脈幹遺残および術後
152	1	先天性心臓病・異常	15	総動脈幹遺残(TRUNCUS)	総動脈幹遺残症術後		総動脈幹遺残および術後
161	1	先天性心臓病・異常	16	肺動脈(弁)閉鎖(PA)	(純型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)		肺動脈弁閉鎖および術後
162	1	先天性心臓病・異常	16	肺動脈(弁)閉鎖(PA)	肺動脈(弁)閉鎖症術後		肺動脈弁閉鎖および術後
171	1	先天性心臓病・異常	17	肺動脈(弁)欠損	肺動脈(弁)欠損(症)		肺動脈弁欠損および術後
172	1	先天性心臓病・異常	17	肺動脈(弁)欠損	肺動脈(弁)欠損症術後		肺動脈弁欠損および術後
181	1	先天性心臓病・異常	18	肺動脈(弁)閉鎖不全(PR)	肺動脈(弁)閉鎖不全(症)		肺動脈弁閉鎖不全および術後
182	1	先天性心臓病・異常	18	肺動脈(弁)閉鎖不全(PR)	肺動脈(弁)閉鎖不全症術後		肺動脈弁閉鎖不全および術後
191	1	先天性心臓病・異常	19	肺動脈(弁)狭窄(PS)	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	カ	肺動脈弁狭窄および術後
192	1	先天性心臓病・異常	19	肺動脈(弁)狭窄(PS)	肺動脈(弁)狭窄症術後	カ	肺動脈弁狭窄および術後
1101	1	先天性心臓病・異常	110	総肺静脈環流異常(TAPVR)	総肺静脈環流異常(症)		総肺静脈環流異常および術後
1102	1	先天性心臓病・異常	110	総肺静脈環流異常(TAPVR)	総肺静脈環流異常症術後		総肺静脈環流異常および術後
1111	1	先天性心臓病・異常	111	部分肺静脈環流異常(PAPVR)	部分肺静脈環流異常(症)		部分肺静脈環流異常および術後
1112	1	先天性心臓病・異常	111	部分肺静脈環流異常(PAPVR)	部分肺静脈環流異常症術後		部分肺静脈環流異常および術後
1121	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動静脈(瘻)交通		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1122	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動静脈(瘻)交通症術後		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1123	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈肺動脈(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1124	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈左房(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1125	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈右房(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1126	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈右室(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1127	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈左室(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通および術後
1131	1	先天性心臓病・異常	113	(完全)心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	心内臓床(一次孔)欠損(症)		心内臓床欠損および術後
1132	1	先天性心臓病・異常	113	(完全)心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	心内臓床(一次孔)欠損症術後		心内臓床欠損および術後
1133	1	先天性心臓病・異常	113	(完全)心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	(完全)心内臓床欠損症(ECD)		心内臓床欠損および術後
1134	1	先天性心臓病・異常	113	(完全)心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	房室中隔欠損(ADSD)		心内臓床欠損および術後
1135	1	先天性心臓病・異常	113	(完全)心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	房室中隔欠損(ADSD)術後		心内臓床欠損および術後
1141	1	先天性心臓病・異常	114	僧帽弁狭窄(MS)	僧帽弁狭窄(症)		僧帽弁狭窄および術後
1142	1	先天性心臓病・異常	114	僧帽弁狭窄(MS)	僧帽弁狭窄症術後		僧帽弁狭窄および術後
1151	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	僧帽弁逸脱(症)	ウ	僧帽弁逸脱症
1152	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	僧帽弁逸脱(症)疑い	ウ	僧帽弁逸脱症
1153	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	僧帽弁逸脱(軽度)	ウ	僧帽弁逸脱症
1154	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	MVP+MR	ウ	僧帽弁逸脱症
1161	1	先天性心臓病・異常	116	僧帽弁閉鎖不全(MIMR)	僧帽弁閉鎖不全(症)	エ	僧帽弁閉鎖不全および術後
1162	1	先天性心臓病・異常	116	僧帽弁閉鎖不全(MIMR)	僧帽弁逆流(軽度)	エ	僧帽弁閉鎖不全および術後
1163	1	先天性心臓病・異常	116	僧帽弁閉鎖不全(MIMR)	僧帽弁閉鎖不全症術後	エ	僧帽弁閉鎖不全および術後
1171	1	先天性心臓病・異常	117	僧帽弁膜異常	僧帽弁膜異常		僧帽弁膜異常、肥厚
1181	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁狭窄(症)	キ	大動脈弁狭窄および術後
1182	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁上狭窄	キ	大動脈弁狭窄および術後
1183	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁下狭窄	キ	大動脈弁狭窄および術後
1184	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁狭窄術後	キ	大動脈弁狭窄および術後
1185	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁上狭窄術後	キ	大動脈弁狭窄および術後
1186	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁下狭窄術後	キ	大動脈弁狭窄および術後
1187	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	AS+AR	キ	大動脈弁狭窄および術後
1191	1	先天性心臓病・異常	119	大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症		大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)
1192	1	先天性心臓病・異常	119	大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症術後		大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)
1201	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄(症)		大動脈縮窄および術後
1202	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄症複合(Co/Ao+VSD+PDA)		大動脈縮窄および術後
1203	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄症術後		大動脈縮窄および術後
1204	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄症複合術後		大動脈縮窄および術後
1211	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈弓離断(症)		大動脈弓離断および術後

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診病名 コード	二次・三次 検診 大分類	二次・三次診断大 分類名	二次・三 次病名 コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
1212	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈離断(症)		大動脈弓離断症および術後
1213	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈離断複合		大動脈弓離断症および術後
1214	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈弓離断(欠損)		大動脈弓離断症および術後
1215	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈弓離断症術後		大動脈弓離断症および術後
1221	1	先天性心臓病・異常	122	両大血管右室起始(DORV)	両大血管右室起始症(症)		両大血管右室起始症および術後
1222	1	先天性心臓病・異常	122	両大血管右室起始(DORV)	両大血管右室起始症術後		両大血管右室起始症および術後
1231	1	先天性心臓病・異常	123	ファロー四徴(T/F)	ファロー四徴(症)	オ	ファロー四徴症および術後
1232	1	先天性心臓病・異常	123	ファロー四徴(T/F)	ファロー四徴症複型	オ	ファロー四徴症および術後
1233	1	先天性心臓病・異常	123	ファロー四徴(T/F)	ファロー四徴症術後	オ	ファロー四徴症および術後
1241	1	先天性心臓病・異常	124	三尖弁狭窄(TS)	三尖弁狭窄(症)		三尖弁狭窄(TS)
1242	1	先天性心臓病・異常	124	三尖弁狭窄(TS)	三尖弁狭窄症術後		三尖弁狭窄(TS)
1243	1	先天性心臓病・異常	124	三尖弁狭窄(TS)	TS+TR		三尖弁狭窄(TS)
1251	1	先天性心臓病・異常	125	三尖弁閉鎖不全(逆流)(TI or TR)	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	ク	三尖弁閉鎖不全症および術後
1252	1	先天性心臓病・異常	125	三尖弁閉鎖不全(逆流)(TI or TR)	三尖弁閉鎖不全(逆流)	ク	三尖弁閉鎖不全症および術後
1253	1	先天性心臓病・異常	125	三尖弁閉鎖不全(逆流)(TI or TR)	三尖弁閉鎖不全(逆流)症術後	ク	三尖弁閉鎖不全症および術後
1261	1	先天性心臓病・異常	126	三尖弁閉鎖(TA)	三尖弁閉鎖(症)		三尖弁閉鎖症および術後
1262	1	先天性心臓病・異常	126	三尖弁閉鎖(TA)	三尖弁閉鎖症術後		三尖弁閉鎖症および術後
1271	1	先天性心臓病・異常	127	大血管転位(転換)(dTGA or completeTGA)	(完全)大血管転位(転換)(症)		(完全)大血管転位症および術後
1272	1	先天性心臓病・異常	127	大血管転位(転換)(dTGA or completeTGA)	(完全)大血管転位(転換)症術後		(完全)大血管転位症および術後
1281	1	先天性心臓病・異常	128	修正大血管転位(転換)(ITGA or corTGA)	修正大血管転位(転換)(症)		修正大血管転位症および術後
1282	1	先天性心臓病・異常	128	修正大血管転位(転換)(ITGA or corTGA)	修正大血管転位(転換)症術後		修正大血管転位症および術後
1291	1	先天性心臓病・異常	129	右室二腔(DCRV)	右室二腔(症)		右室二腔症および術後
1292	1	先天性心臓病・異常	129	右室二腔(DCRV)	右室二腔症術後		右室二腔症および術後
1301	1	先天性心臓病・異常	130	エプスタイン奇形心(Epstein)	エプスタイン奇形(心)		エプスタイン奇形心および術後
1302	1	先天性心臓病・異常	130	エプスタイン奇形心(Epstein)	エプスタイン奇形心術後		エプスタイン奇形心および術後
1311	1	先天性心臓病・異常	131	三心房心	三(心)房心		三心房心術後
1312	1	先天性心臓病・異常	131	三心房心	三心房心術後		三心房心術後
1321	1	先天性心臓病・異常	132	心外膜(心膜)欠損	心外膜(心膜)欠損(症)(疑い)		心外膜欠損症および術後
1322	1	先天性心臓病・異常	132	心外膜(心膜)欠損	心外膜(心膜)欠損症術後		心外膜欠損症および術後
1331	1	先天性心臓病・異常	133	大動脈弁の異常	大動脈二尖弁		大動脈弁の異常
1332	1	先天性心臓病・異常	133	大動脈弁の異常	大動脈四尖弁		大動脈弁の異常
1341	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	左心低形成症候群		左心低形成症候群および術後
1342	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	大動脈弁閉鎖(症)		左心低形成症候群および術後
1343	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	僧帽弁閉鎖(症)		左心低形成症候群および術後
1344	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	左心低形成症候群術後		左心低形成症候群および術後
1345	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	大動脈弁閉鎖症術後		左心低形成症候群および術後
1346	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	僧帽弁閉鎖症術後		左心低形成症候群および術後
1351	1	先天性心臓病・異常	135	(孤立性)右室低形成	(孤立性)右室低形成		(孤立性)右室低形成
1361	1	先天性心臓病・異常	136	無脾症(心)(Asplenia)	無脾症(心)		無脾症(心)(Asplenia)および術後
1362	1	先天性心臓病・異常	136	無脾症(心)(Asplenia)	無脾症(心)術後		無脾症(心)(Asplenia)および術後
1371	1	先天性心臓病・異常	137	多脾症(心)(Polysplenia)	多脾症(心)		多脾症(心)(Asplenia)および術後
1372	1	先天性心臓病・異常	137	多脾症(心)(Polysplenia)	多脾症(心)術後		多脾症(心)(Asplenia)および術後
1381	1	先天性心臓病・異常	138	内蔵錯位(心)	内蔵錯位(心)		内蔵錯位(心)(Asplenia)および術後
1382	1	先天性心臓病・異常	138	内蔵錯位(心)	内蔵錯位(心)術後		内蔵錯位(心)(Asplenia)および術後
1391	1	先天性心臓病・異常	139	単心室(SV)	単心室		単心室および術後
1392	1	先天性心臓病・異常	139	単心室(SV)	単心室術後		単心室および術後
1401	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈中隔欠損(症)		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)お
1402	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈窓		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)お
1403	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈中隔欠損症術後		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)お
1404	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈中隔欠損術後		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)お
1405	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈窓術後		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)お
1411	1	先天性心臓病・異常	141	右胸心	右胸心(内蔵逆位心)		右胸心(内蔵逆位心)
1412	1	先天性心臓病・異常	141	右胸心	(孤立性)右胸心		(孤立性)右胸心
1421	1	先天性心臓病・異常	142	左胸心	左胸心		左胸心
1431	1	先天性心臓病・異常	143	血管輪	血管輪		血管輪および術後
1432	1	先天性心臓病・異常	143	血管輪	血管輪術後		血管輪および術後
1433	1	先天性心臓病・異常	143	血管輪	右大動脈弓+PDA索		血管輪および術後
1434	1	先天性心臓病・異常	143	肺動脈輪	肺動脈輪		肺動脈輪その術後
1441	1	先天性心臓病・異常	144	(冠)静脈洞弁遺残	(冠)静脈洞弁遺残(症)		(冠)静脈洞弁遺残
1451	1	先天性心臓病・異常	145	肺高血圧症	(原発性)肺高血圧症		肺高血圧症
1452	1	先天性心臓病・異常	145	肺高血圧症	肺動脈性肺高血圧症		肺高血圧症
1461	1	先天性心臓病・異常	146	心房の異常	右房拡大(拡張)		右房拡大(拡張)
1462	1	先天性心臓病・異常	146	心房の異常	左房拡大(拡張)		左房拡大(拡張)
1471	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	先天性心疾患の疑い		先天性心疾患の疑い
1472	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	先天性心疾患(根治)術後		先天性心疾患(根治)術後
1473	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	フォンタン術後		フォンタン術後
1474	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	グレン術後		グレン術後
1475	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	短絡術後		短絡術後
1476	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	弁膜症		弁膜症
1477	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	修復術後		修復術後

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断大分 類名	二次・三 次病名 コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
1480	1	先天性心臓病・異常	148	その他	その他の先天性心疾患		その他の心臓病・異常
211	2	その他の心臓病・異常	21	心内臓線維弾性	心内臓線維弾性(症)(EFE)		心内臓線維弾性
221	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	心筋炎(疑い)		心筋炎による心障害
222	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	ウイルス性心筋炎(疑い)		心筋炎による心障害
223	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	特発性心筋炎(疑い)		心筋炎による心障害
224	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	心筋炎の既往		心筋炎による心障害
225	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	心筋炎後		心筋炎による心障害
226	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	ウイルス性心筋炎の既往		心筋炎による心障害
227	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	特発性心筋炎の既往		心筋炎による心障害
231	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	特発性心筋症・心筋線密化障害		心筋症による心障害
232	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	心筋症(疑い)		心筋症による心障害
233	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	肥大型心筋症(疑い)		心筋症による心障害
234	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)		心筋症による心障害
235	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	タコ壺型心筋症		心筋症による心障害
241	2	その他の心臓病・異常	24	続発性心筋	薬剤性心筋症		薬剤性心筋症
242	2	その他の心臓病・異常	24	続発性心筋	続発性心筋症		続発性心筋
251	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	心外膜炎		心外膜炎
252	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	ウイルス性心外膜炎		心外膜炎
253	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	特発性心外膜炎		心外膜炎
254	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	続発性心外膜炎		心外膜炎
255	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	心外膜炎の既往		心外膜炎
256	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	心外膜炎損傷の既往		心外膜炎
261	2	その他の心臓病・異常	26	心外膜損傷	心外膜損傷の既往		心外膜炎
271	2	その他の心臓病・異常	27	心外膜欠損	心外膜欠損(症)		心外膜欠損(症)
281	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓腫瘍		心臓腫瘍および術後
282	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓紋筋腫		心臓腫瘍および術後
283	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓神経腫		心臓腫瘍および術後
284	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓腫瘍術後		心臓腫瘍および術後
285	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓紋筋腫術後		心臓腫瘍および術後
286	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓神経腫術後		心臓腫瘍および術後
291	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	高血圧症		高血圧症
292	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	本態性高血圧症		高血圧症
293	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	続発性高血圧症		高血圧症
294	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	腎血管性高血圧症		高血圧症
2101	2	その他の心臓病・異常	210	肺性心	肺性心		肺性心
2111	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性僧帽弁狭窄		リウマチ性弁膜症
2112	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性僧帽弁閉鎖不全		リウマチ性弁膜症
2113	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性大動脈弁狭窄		リウマチ性弁膜症
2114	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性大動脈弁閉鎖不全		リウマチ性弁膜症
2115	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性連合弁膜症		リウマチ性弁膜症
2121	2	その他の心臓病・異常	212	診断未定だがその他の心臓病に分類するもの	狭心症(疑い)		狭心症
2122	2	その他の心臓病・異常	212	診断未定だがその他の心臓病に分類するもの	大動脈血栓症		大動脈血栓症
2130	2	その他の心臓病・異常	213	その他	その他の心臓病・異常		その他の心臓病・異常
311	3	心電図・心音図異常	31	心室性期外収縮(PVC)	心室性期外収縮(疑い)	ケ	心室性期外収縮
312	3	心電図・心音図異常	31	心室性期外収縮(PVC)	心室性期外収縮(心室性二段脈)	ケ	心室性期外収縮
321	3	心電図・心音図異常	32	心房性期外収縮(PAC)	心房性(上室性)期外収縮	コ	心房性期外収縮
331	3	心電図・心音図異常	33	心房細動(AF)	心房細動(疑い)		心房細動(AF)
341	3	心電図・心音図異常	34	心房粗動(AF)	心房粗動(疑い)		心房粗動(AF)
342	3	心電図・心音図異常	34	心房粗動(AF)	特発性心房粗動(疑い)		心房粗動(AF)
351	3	心電図・心音図異常	35	接合部性期外収縮	接合部性期外収縮		接合部性期外収縮
361	3	心電図・心音図異常	36	多源性期外収縮	多源性期外収縮		多源性期外収縮
371	3	心電図・心音図異常	37	心室性頻脈(拍)症(VT)	心室性頻脈(拍)症(疑い)		心室性頻脈(拍)症
372	3	心電図・心音図異常	37	心室性頻脈(拍)症(VT)	心室性頻脈(拍)症の既往		心室性頻脈(拍)症
373	3	心電図・心音図異常	37	心室性頻脈(拍)症(VT)	特発性心室性頻脈(拍)症の既往		心室性頻脈(拍)症
381	3	心電図・心音図異常	38	心室(粗)細動	心室(粗)細動(疑い)		心室(粗)細動
382	3	心電図・心音図異常	38	心室(粗)細動	特発性心室細動(疑い)		心室(粗)細動
391	3	心電図・心音図異常	39	上室性(心房性)頻脈(拍)症	上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)		上室性(心房性)頻脈(拍)症
392	3	心電図・心音図異常	39	上室性(心房性)頻脈(拍)症	上室性(心房性)頻脈(拍)症の既往		上室性(心房性)頻脈(拍)症
3101	3	心電図・心音図異常	310	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(PAT)	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)		上室性(心房性)頻脈(拍)症
3102	3	心電図・心音図異常	310	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(PAT)	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症の既往		上室性(心房性)頻脈(拍)症
3111	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	接合部性頻脈(拍)症(疑い)		接合部性頻脈(拍)症
3112	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	接合部性頻脈(拍)症の既往		接合部性頻脈(拍)症
3113	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	房室結節性回帰性頻脈(拍)症(疑い)		接合部性頻脈(拍)症
3114	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	房室結節性頻脈(拍)症(疑い)		接合部性頻脈(拍)症
3121	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	洞機能不全症候群(疑い)		洞機能不全症候群
3122	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	洞停止		洞機能不全症候群
3123	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	頻脈徐脈症候群(疑い)		洞機能不全症候群
3124	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	徐脈頻脈症候群(疑い)		洞機能不全症候群
3125	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	洞徐脈		洞機能不全症候群
3131	3	心電図・心音図異常	313	洞房ブロック	洞房ブロック		洞房ブロック

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断大分 類名	二次・三 次診断 コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
3141	3	心電図・心音図異常	314	第1度房室ブロック	第1度房室ブロック	ス	第1度房室ブロック
3142	3	心電図・心音図異常	314	第1度房室ブロック	PR(Q)延長	ス	第1度房室ブロック
3151	3	心電図・心音図異常	315	第2度房室ブロック	第2度房室ブロック	セ	第2度房室ブロック
3152	3	心電図・心音図異常	315	第2度房室ブロック	モビッツ型第2度房室ブロック	セ	第2度房室ブロック
3153	3	心電図・心音図異常	315	第2度房室ブロック	ウエンケハッハ型第2度房室ブロック	セ	第2度房室ブロック
3161	3	心電図・心音図異常	316	第3度房室ブロック	第3度房室ブロック		第3度房室ブロック
3162	3	心電図・心音図異常	316	第3度房室ブロック	先天性完全房室ブロック		第3度房室ブロック
3163	3	心電図・心音図異常	316	第3度房室ブロック	完全房室ブロック		第3度房室ブロック
3171	3	心電図・心音図異常	317	心室内伝導障害	心室内伝導障害(疑い)		心室内伝導障害
3172	3	心電図・心音図異常	317	心室内伝導障害	左脚前枝ブロック		心室内伝導障害
3173	3	心電図・心音図異常	317	心室内伝導障害	二枝ブロック		心室内伝導障害
3181	3	心電図・心音図異常	318	完全右脚ブロック(CRBBB)	完全右脚ブロック	シ	完全右脚ブロック
3191	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	副伝導路症候群(疑い)		副伝導路症候群
3192	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	WPW症候群(疑い)	サ	副伝導路症候群
3193	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	PR(Q)短縮(症候群)(疑い)		副伝導路症候群
3194	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	LGL症候群		副伝導路症候群
3201	3	心電図・心音図異常	320	QT延長(症候群)	QT延長(症候群)	ソ	QT延長(症候群)
3211	3	心電図・心音図異常	321	ブルガタ症候群(心電図)	ブルガタ症候群(心電図)		ブルガタ症候群(心電図)
3221	3	心電図・心音図異常	322	副収縮	心房性副収縮		副収縮
3222	3	心電図・心音図異常	322	副収縮	房室結節性副収縮		副収縮
3223	3	心電図・心音図異常	322	副収縮	心室性副収縮		副収縮
3231	3	心電図・心音図異常	323	心室(固有)調律	心室(固有)調律		心室(固有)調律
3240	3	心電図・心音図異常	324	その他	その他心電図・心音図異常		その他心電図・心音図異常
411	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈狭窄(の既往)		川崎病冠動脈狭窄の残存するもの
412	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈拡張(の既往)		川崎病冠動脈狭窄の残存するもの
413	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈一過性拡張(の既往)		川崎病冠動脈狭窄の残存するもの
414	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈狭窄(の既往)		川崎病冠動脈狭窄の残存するもの
511	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	(突発性)肺動脈拡張		(突発性)肺動脈拡張
512	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	左肺低形成		左肺低形成
513	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	右肺低形成		右肺低形成
514	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	右肺動脈欠損症		右肺動脈欠損症
515	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	左肺動脈欠損症		左肺動脈欠損症
521	5	その他の異常	52	心位置異常	横位心(心臓横位)		異常なし
522	5	その他の異常	52	心位置異常	滴状心		異常なし
523	5	その他の異常	52	心位置異常	垂直位心(臓)		異常なし
524	5	その他の異常	52	心位置異常	心臓偏位		異常なし
525	5	その他の異常	52	心位置異常	心臓立位(立位心)		異常なし
526	5	その他の異常	52	心位置異常	反時計回転(心)(臓)		異常なし
531	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	甲状腺機能亢進症(バセドー氏病)		全身性疾患に伴うもの
532	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	甲状腺機能低下症(クレチン症)		全身性疾患に伴うもの
533	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	(進行性)筋ジストロフィ症		全身性疾患に伴うもの
534	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	(鉄欠乏性)貧血		全身性疾患に伴うもの
535	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	脚気心		全身性疾患に伴うもの
536	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	マルファン症候群		全身性疾患に伴うもの
537	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	糖尿病(1, 2, 3, 4, 5, 6型)		全身性疾患に伴うもの
538	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	ムコ多糖症(1, 2, 3, 4型)		全身性疾患に伴うもの
539	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	起立性調節障害		全身性疾患に伴うもの
5310	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	大動脈炎症候群(脈なし病)		全身性疾患に伴うもの
5311	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	プリンゲル病		全身性疾患に伴うもの
541	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	漏斗胸(術後)		胸郭異常に伴うもの
542	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	鳩胸		胸郭異常に伴うもの
543	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	ストレートバック症候群		胸郭異常に伴うもの
544	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	扁平胸(術後)		胸郭異常に伴うもの
551	5	その他の異常	55	縦隔腫瘍	胸腺腫(術後)		縦隔腫瘍
552	5	その他の異常	55	縦隔腫瘍	縦隔腫瘍(術後)		縦隔腫瘍
553	5	その他の異常	55	縦隔腫瘍	縦隔奇形腫(術後)		縦隔腫瘍
560	5	その他の異常	56	その他	その他の異常		その他
611	6	診断未定	61	心電図異常	心電図異常		診断未定
612	6	診断未定	61	心電図異常	不完全右脚ブロック		診断未定
613	6	診断未定	61	心電図異常	QRS波異常		診断未定
614	6	診断未定	61	心電図異常	Q波の異常		診断未定
615	6	診断未定	61	心電図異常	STの異常		診断未定
616	6	診断未定	61	心電図異常	T波の異常		診断未定
617	6	診断未定	61	心電図異常	右軸偏位		診断未定
618	6	診断未定	61	心電図異常	左軸偏位		診断未定
619	6	診断未定	61	心電図異常	右室肥大		診断未定
6110	6	診断未定	61	心電図異常	左室肥大		診断未定
6111	6	診断未定	61	心電図異常	心室性不整脈		診断未定
6112	6	診断未定	61	心電図異常	不整脈		診断未定
6113	6	診断未定	61	心電図異常	徐脈		診断未定

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断大分 類名	二次・三 次病名 コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
6114	6	診断未定	61	心電図異常	頻脈		診断未定
6115	6	診断未定	61	心電図異常	右脚ブロック		診断未定
6116	6	診断未定	61	心電図異常	(一過性)期外収縮		診断未定
6117	6	診断未定	61	心電図異常	早期再分極		診断未定
6118	6	診断未定	61	心電図異常	低電位		診断未定
6119	6	診断未定	61	心電図異常	一過性不整脈		診断未定
6120	6	診断未定	61	心電図異常	心肥大		診断未定
6121	6	診断未定	61	心電図異常	房室ブロック		診断未定
6122	6	診断未定	61	心電図異常	高電位(差)		診断未定
6123	6	診断未定	61	心電図異常	軸偏位		診断未定
6124	6	診断未定	61	心電図異常	非特異的ST異常		診断未定
621	6	診断未定	62	心音図異常	収縮期(心)雑音		診断未定
622	6	診断未定	62	心音図異常	収縮期クリック		診断未定
623	6	診断未定	62	心音図異常	クリック		診断未定
624	6	診断未定	62	心音図異常	心雑音		診断未定
625	6	診断未定	62	心音図異常	拡張期雑音		診断未定
626	6	診断未定	62	心音図異常	2音分裂		診断未定
627	6	診断未定	62	心音図異常	3音、4音		診断未定
631	6	診断未定	63	心陰影の異常	心拡大(拡張)		診断未定
632	6	診断未定	63	心陰影の異常	左心室拡大(拡張)		診断未定
633	6	診断未定	63	心陰影の異常	心筋障害後(の疑い)		診断未定
634	6	診断未定	63	心陰影の異常	右室拡大(拡張)		診断未定
635	6	診断未定	63	心陰影の異常	右房拡大(拡張)		診断未定
636	6	診断未定	63	心陰影の異常	左房拡大(拡張)		診断未定
637	6	診断未定	63	心陰影の異常	左室異常		診断未定
638	6	診断未定	63	心陰影の異常	縦隔異常		診断未定
641	6	診断未定	64	その他	軽度の心機能低下		診断未定
642	6	診断未定	64	その他	心機能障害		診断未定
643	6	診断未定	64	その他	弁膜症		診断未定
711	7	異常なし	71	異常なし	異常なし		異常なし
712	7	異常なし	71	異常なし	川崎病の既往		異常なし
713	7	異常なし	71	異常なし	リウマチ熱の既往		異常なし
714	7	異常なし	71	異常なし	スポーツ心臓		異常なし
715	7	異常なし	71	異常なし	機能的(無害性)(収縮期)心雑音		異常なし
716	7	異常なし	71	異常なし	卵円孔開存		異常なし
717	7	異常なし	71	異常なし	(生理的)洞性徐脈		異常なし
718	7	異常なし	71	異常なし	(生理的)洞性頻脈		異常なし
719	7	異常なし	71	異常なし	洞(性)調律		異常なし
7110	7	異常なし	71	異常なし	生理的3音、4音		異常なし
7111	7	異常なし	71	異常なし	洞性不整脈		異常なし
7112	7	異常なし	71	異常なし	呼吸性不整脈		異常なし
721	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	不完全右脚ブロック(生理的)(正常バリエーション)		異常なし
722	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	QRS波異常(正常バリエーション)		異常なし
723	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	Q波の異常(正常バリエーション)		異常なし
724	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	STの異常(正常バリエーション)		異常なし
725	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	T波の異常(正常バリエーション)		異常なし
726	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	右軸偏位(正常バリエーション)		異常なし
727	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	左軸偏位(正常バリエーション)		異常なし
728	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	拡張期雑音(正常バリエーション)		異常なし
729	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	2音分裂(正常バリエーション)		異常なし
7210	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	軸偏位(正常バリエーション)		異常なし
7211	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	高電位(正常バリエーション)		異常なし
7212	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	低電位(正常バリエーション)		異常なし
731	7	異常なし	73	心配ない調律異常	調律異常(疑い)		異常なし
732	7	異常なし	73	心配ない調律異常	(房室)結節性(補充)調律		異常なし
733	7	異常なし	73	心配ない調律異常	左房調律		異常なし
734	7	異常なし	73	心配ない調律異常	(下部)心房調律		異常なし
735	7	異常なし	73	心配ない調律異常	心房(上室性)不整脈		異常なし
736	7	異常なし	73	心配ない調律異常	房室解離		異常なし
737	7	異常なし	73	心配ない調律異常	ペースメーカー移動(シフト)		異常なし
738	7	異常なし	73	心配ない調律異常	異所性調律		異常なし
739	7	異常なし	73	心配ない調律異常	冠静脈洞調律		異常なし
741	7	異常なし	74	心配のない心房性期外収縮	単発の心房性期外収縮		異常なし
751	7	異常なし	75	先天性心疾患の既往	現在疑われない先天性心疾患		異常なし
761	7	異常なし	76	不整脈の既往	不整脈の既往(現在なし)		異常なし
770	7	異常なし	77	その他	その他の異常なし		異常なし
811	8	未受診	81	未受診	未受診		異常なし

突然死に関する調査結果

表 1 突然死に関する調査結果

(平成30年度～令和4年度)

※ 突然死の定義

WHO(世界保健機関)及び独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度における突然死の取扱い等を参考に、群馬県では下記のように「突然死」を定義し、各学校等に対して、「病死」と「突然死」を分けて報告するよう依頼しています。

【群馬県の場合】

○突然死

「突然で予期できなかった病死」と定義され、ふつう発病から24時間以内に死亡したものをいう。
 しかし、最近では、救急医学の進歩によって長時間生命の維持ができるようになったため、発病から48時間以内に死亡したのもも突然死の範疇に入れるようになっている。
 また、「突然死」は「病死」の一種であることから、運動中などに起きた脊髄損傷や頭部外傷による死亡、溺死、交通事故などの外因(事故)死については、突然死とはされないこととなっている。

○突然死の死因

突然死の死因について、本県では「心疾患によるもの」「脳血管疾患によるもの」「原因不明のもの」の3つに分類した。

年度	区分	心疾患によるもの			脳血管疾患によるもの			原因不明のもの			合計
		学校管理下	家庭生活中	計	学校管理下	家庭生活中	計	学校管理下	家庭生活中	計	
30	小										
	中										
	高		1	1							1
	計		1	1							1
R1	小										
	中										
	高										
	計										
R2	小								1	1	1
	中		1	1							1
	高										
	計		1	1					1	1	2
R3	小								1	1	1
	中										
	高		1	1							1
	計		1	1					1	1	2
R4	小										
	中										
	高										
	計										

※空欄については、報告0です。

令和4年度
児童生徒腎臓検診報告書
児童生徒心臓検診報告書

作成協力者：（職名は令和5年3月末現在）

令和4年度群馬県学校保健会 児童生徒腎臓疾患対策委員会 委員	令和4年度群馬県学校保健会 児童生徒心臓疾患対策委員会 委員
1 須藤 英仁 群馬県医師会長	1 須藤 英仁 群馬県医師会長
2 今泉 友一 群馬県学校医会長・群馬県医師会理事	2 今泉 友一 群馬県学校医会長・群馬県医師会理事
3 有坂 拓 群馬県医師会理事	3 有坂 拓 群馬県医師会理事
4 滝沢 琢己 群馬大学大学院医学系研究科教授	4 滝沢 琢己 群馬大学大学院医学系研究科教授
5 廣村 桂樹 群馬大学大学院医学系研究科教授	5 小林 富男 さわらび医療福祉センター
6 丸山 健一 群馬県赤十字血液センター所長	6 篠原 真 しのはら小児科院長
7 関根 芳岳 群馬大学大学院医学系研究科講師	7 小川 哲史 (独) 国立病院機構高崎総合医療 センター院長
8 渡部登志雄 公立藤岡総合病院小児科部長	8 池田健太郎 群馬県立小児医療センター第三内科部長
9 大津 義晃 群馬大学大学院医学系研究科助教	9 津久井 智 群馬県健康づくり財団技監
10 山田英二郎 群馬大学医学部附属病院講師	
11 津久井 智 群馬県健康づくり財団技監	

(順不同・敬称略)

発行：令和5年4月

発行者：群馬県学校保健会

群馬県教育委員会健康体育課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

電話：027(226)4707

FAX：027(243)3211

印刷：(株)ナミ印刷